

公立大学法人名桜大学リベラルアーツ機構

数理学習センター (MSLC)

10年のあゆみ



公立大学法人 名桜大学
数理学習センター

【巻頭言】

「数理学習センター 10年のあゆみ」に寄せて



名桜大学 国際学群 (語学教育専攻)

リベラルアーツ機構長 小 番 達

私が本学に奉職して8年になります。着任時から言語学習センターとともに数理学習センターの存在は勿論知っていましたが、理数系が苦手な文系人間の私にとっては、正直なところ、何となく縁遠い、近づき難い場所でした。そのようなこともあって、センターの活動内容も主に「数理学習センターだより」を通じて把握するという程度でした。

ところが、現在の役職に就いたこともあり、その活動をより詳細に知る機会を得ました。それは、恥ずかしながらこれまで足を運ぶことがなかった、毎学期末に開催されるプロジェクト発表会への参加です。そこでは、連携授業における学習支援、検定対策講座や卒業論文作成のための統計講座、チュータリング業務、その業務を行うためのトレーニング、センター運営の分掌等々が報告されました。その取り組みは緻密で周到、やっぱり理数系だなあという印象(文系人間の先入観でしょうか)でした。これはセンター長の高安美智子先生の指導もさることながら、チューター一人一人の意識の高さ、不断の努力の賜物であることがわかりました。

センターの活動の中で私が注目しているのが、連携授業における学習支援です。もともと数理に強い学生の能力伸張を後押しすることは必要ですが、そうではない学生の数理能力を引き上げることも大切です。ただし、能力を引き上げると言葉にするのは簡単、実際は困難を伴うことです。しかし、センターの皆さんには試行錯誤しながらも支援を続けていてもらいたいと思います。その支援によって、数理能力を身につけるだけでなく、多角的な、柔軟なものの見方ができる学生が増えると思うのです。

今後もチューター間の連携・協力とともに言語学習センター、ライティングセンターとも手を携え、切磋琢磨しながら、本学の学びのコミュニティの充実・発展に貢献し続けてもらえることを切に願っています。

令和元(2019)年6月25日 記

目次

巻頭言

「数理学習センター10年のあゆみ」に寄せて

リベラルアーツ機構長 小 番 達

名桜大学数理学習センター10周年を迎えて

学長 山 里 勝 己

1

1 公立大学法人化 地域貢献型「名桜大学」スタート

2

2 名桜大学学生支援団体の設立

3

3 数理学習センター10年のあゆみを振り返る

数理学習センター10年を振り返って

4

前リベラルアーツ機構長 木 村 堅 一

「学生－教員間」および「教員－教員間」の知的相互作用の場

前数理学習センター長 佐久本 功 達

6

数理学習センター10周年に寄せて

前数理学習センター専任教員 高 橋 太 介

8

MSLCと共に歩んだ日々

前数理学習センター副センター長 大 城 真理子

9

4 10年間に数理学習センターで活躍したピア・チューターの名簿一覧

10

5 MSLC チューターの活動10年を振り返る

14

(1) 2009 年～2012 年

(2) 2013年～2017年

23

(3) MSLC チューター（卒業生）の思い出&近況報告

50

(4) 2019年度在学中の元 MSLC チューター

55

(5) 2019 年度活躍中のチューター

56

6 2018（平成 30）年度の MSLC の活動報告

58

MSLC の基本理念、MSLC 7 年間の利用者統計、チューティーに関する諸調査

7 2019（令和元）年度 MSLC の活動

62

MSLC チューター名簿、チュータートレーニングプログラム

2019年度 MSLC スタッフ

65

おわりに 「数理学習センター10年のあゆみ」の発行に当たって

66

名桜大学数理学習センター 10周年を迎えて



名桜大学

学 長 山 里 勝 己

名桜大学は、2019年に開学25周年、公立大学法人化10周年を迎えました。名桜大学数理学習センターは大学教育改革の一環として、公立大学法人化への準備の最中の2009年（平成21）年に設置され、去る5月に満10年を迎えました。

本学は、学部教育において人文科学、社会科学、自然科学を幅広く柔軟に学び、批判的かつ論理的な知識体系を身につけ、同時に自立した思考を深め、知的倫理性を実践することを目的とした教育を推進しています。「(母語による)文章力、数理的な判断・分析能力、外国語、ICTリテラシー」という4つの基礎的なアカデミックスキルは、グローバル化する世界に対応するためのリベラルアーツ教育の重要な基本要素です。名桜大学では、その4つのアカデミックスキルの下に幅広い教養教育を基礎とした、円満な人間形成をめざし、専門分野では深い知識を探究するようカリキュラムが設計されています。また、このような正課のカリキュラムに加えて、学生の自発的な学習を支援し教養教育をより充実させるために、学生支援のためのボランティアによる「ウェルナビ」、就職活動支援ボランティア「S-CUBE」を推進し、さらには言語学習センター、数理学習センター、ライティングセンターにおいて、学生のサポート、学習支援を組織的におこなっていることが本学の特徴となっています。

人工頭脳(AI)が活躍し、より一層数理的な判断能力が求められるこれからの社会において、主体的に自らの数理能力の向上に立ち向かい、学び続ける学生の支援は重要です。数理学習センターは、チューターが常駐し数理系科目の学習支援を計画的に行い、本学の学生にとって必要不可欠な心強い学習環境を提供しています。また、数理学習センターでは、昨年度より高大接続の課題改善に向けて、入学前特別講座や数学苦手克服の自然科学特別講義を開講するなど円滑な学びの環境づくりに取り組み、入学後の継続した自主的・主体的な学習態度の定着と、自立した思考の育成を目指しています。

これまでのセンターでの10年間の取組や成果・課題を踏まえ、その独自の取組を発展させ、新たな挑戦に怯むことなく、本学の目指す豊かな人間性の育成に貢献していくものと期待しています。

1 公立大学法人化

地域貢献型「名桜大学」スタート

名桜大学は、沖縄県の基幹産業である第3次産業、特に「観光産業」に関する教育研究と人材の育成、地域社会が切望する高等教育の機会拡大、過疎化が進む沖縄県北部の活性化を図ることを目的として設置されました。設立当初は、沖縄県並びに名護市を中心とした北部12市町村による沖縄県唯一の公設民営の学校法人名護総合学園が運営する私立大学としてスタートしました。

1994（平成6）年4月15日に国際学部（国際文化学科、経営情報学科、観光産業学科）のみの単科大学として、第1回名桜大学の栄えある入学式（入学生384人）が執り行われました。本学は開学当初から「平和・自由・進歩」を建学の理念として、「国際社会で活躍できる人材」の育成を大学の使命・目的とし、教育・研究・地域貢献を基本方針として掲げてきました。

しかし、当時の高等教育は、大学進学率の向上とともに新設大学の増加による大学全入時代に向かっていました。文部科学省の報告によると1989（平成元）年から2009（平成20）年までの間に266の大学が増えた反面、2000年代は定員割れの恒常化による経営悪化のため私立大学の閉鎖や統廃合が相次ぎました。加えて18歳人口が減少へと転じ、特色ある学生確保を名目とした入試改革が行われ、AO入試やアラカルト方式をはじめとする定員確保のみを主とした入試の多様化で学力不問に近い入試制度も現れ、大学の学力低下が問題となりました。

このように全国的に大学運営が厳しい状況にある中、本学では2005（平成17）年に人間健康学部スポーツ健康学科が設置されました。2007（平成19）年には、人間健康学部看護学科を新設、国際学部の3学科を国際学群国際学類に改組し、現在の2学部3学科となっています。しかし、本学でも学力の二極化や学生の多様化が進み、大学生活への不適應、学業不振、経済的困窮、休・退学、卒業後の無業等の大きな課題に直面していました。以上のような状況下で定員割れが続き、本学でも大学存続の危機が叫ばれていました。しかし、教職員の危機意識の共有とその熱意によって大学改革が進められ、本学は新しい特色ある大学づくりへの変革を迎えることができました。その転機となったのが、「公立大学法人化」と「先輩・後輩コミュニティを基本とした学習支援センターの構築」であったと言えるでしょう。

2010（平成22）年、名桜大学は公立大学法人化の実現によりそれまで続いた定員割れは解消され、長期的に発展し続ける地域貢献型「名桜大学」として再スタートをすることになりました。

2 名桜大学学生支援団体の設立

公立大学法人化の実現までには、大学存続をかけた本学教職員の大学改革・教育改革への布石がありました。その一つが、現在では本学の特色となっている学生を巻き込んだ学生支援体制の構築でした。

外国語学習に力を入れたい学生たちのニーズに応えようと、外国語教育に熱心な教員たちが、2001（平成13）年に米国 CRLA の国際標準チューター育成プログラムを導入して「言語学習センター（LLC）」を開設しました。2007（平成19）年には新入生支援の学生ボランティア団体「ウェルナビ」が誕生し、学生参画型の大学改革がスタートしました。学生による学生支援のコミュニティづくりを加速させたのが、文部科学省の学生支援 GP 事業（2009年度～2011年度）の採択でした。学生支援推進事業は、「先輩・後輩コミュニティを基本とした学習支援センターの構築」という基本方針があり、「基礎学力と社会人基礎力の向上が期待できる学生支援」を模索したのです。

学力の二極化は他の様々な領域でも顕在化していましたが、特に数学や理科の学力（数理能力）向上に真剣に取り組まなければならない状況にありました。そのことを背景として本学の言語学習センターをモデルに、2009（平成21）年5月に「学生の数理能力の向上と自主学習促進」を目的とした「数理学習センター：Mathematical Science Learning Center (MSLC)」を設立しました。さらに、就職活動支援団体「S-CUBE」、図書館や教員養成支援センター、メディアネットワークセンター：Media Network Center (MNC) などの組織を概念統合した「学習支援センター」が出来上がりました。

2011（平成23）年度、全学の教養教育カリキュラムを統括する教養教育センター（現在は廃止）が設置され、2013（平成25）年度より、教養教育と学習センターとの連携を強化させる目的で、教養教育センターの下に言語学習センターと数理学習センターが配置されることとなりました。

また、2014（平成26）年度、山里勝己学長就任の際、リベラルアーツ教育において最も重要とされるライティング力を全学生に保証したいという提案に基づき、翌2015（平成27）年度にライティングセンター（MWC）が設置されました。

さらに、2015（平成27）年度に教養教育センターを発展的に解消し、リベラルアーツ機構を学部レベルに改組し、機構長が教養教育と学習センターを統括することになりました。



【学生会館 SAKURAUM】

参考資料

1. 平成21年度文部科学省「先輩・後輩コミュニティを基本とする学習支援センターの構築」事業報告書 名桜大学
2. 平成22年度文部科学省「先輩・後輩コミュニティを基本とする学習支援センターの構築」事業報告書 名桜大学
3. 大学概要 2018-2019 公立大学法人 名桜大学

3 数理学習センター 10年のあゆみを振り返る



数理学習センターの10年を振り返って

名桜大学 国際学群 経営情報教育研究学系長
前リベラルアーツ機構長 木村 堅一

10年目を迎えた数理学習センター（MSLC）は、入学式の学長式辞に4年連続で登場するほど、名桜大学にとって欠かせない存在となりました。この栄誉は、現センター長の高安美智子先生をはじめ、歴代の学生チューターと教職員の皆さんの絶え間ない努力と情熱の上に築かれたものです。本稿では、MSLC が誕生した当時の思い出を振り返るとともに、現在までの10年間を振り返りたいと思います。

2000年10月、私は、東江平之先生の後任として名桜大学に赴任しました。名護湾を一望する素晴らしい眺望とは裏腹に、名桜大学は「地方・私立・単科」という大学経営の三重苦を抱えていました。大学は生き残りをかけ、毎年のように、入試制度の改革、取得可能な教員免許や資格の充実、科目の増設を行うも、なかなか決定打になりません。職員の多くが大学改革に疲れ、不安を抱えていました。2007年4月、最後の切り札として、看護学科を新設すると同時に、国際学部を国際学群に改組しました。

2007年4月、時を同じくして、2年後にMSLCを誕生させる高橋大介先生が、国際文化研究科（修士）へ入学してきました。物理学を専攻していた高橋先生とは、私と年齢も近く、プライベートで大学教育のあり方を議論するようになりました。高橋先生は、名桜のボランティア学生に刺激を受け、当時、教務課前にあったウェルナビ内に「なんでも質問コーナー」を開設し、数理が苦手な学生たちの学習支援をボランティアで行っていました。その高橋先生の姿こそ、MSLCの原風景そのものであり、私に大学改革のヒントを提供してくれました。

2008年、瀬名波榮喜学長（当時）の命を受け、私は「先輩・後輩コミュニティを基本とする学習支援センターの構築」をテーマとした学生支援プログラムの事業計画を策定し、文部科学省の補助事業（GP）に申請しました。幸運にも「採択」の通知が届き、皆で大喜びをしました。それは、2001年開設の言語学習センター（LLC）と2007年開設のウェルナビ（新入生支援）の成功事例を、数理学習センターと就職活動支援ボランティア「S-CUBE」に活用することで、入学から卒業までの学生支援・学習支援を、全て「ピア活動」によって行うという全国的にも珍しいプログラムでした。大学院を卒業したばかりの高橋先生に協力の打診をしたところ快諾していただき、彼と同期だった大城真樹さんも職員として迎え、学生チューターと202教室を手作りで改装しました。そして2009年5月、MSLCが誕生したのです。

誕生したばかりのMSLCは、LLCやウェルナビと一緒に発展していきます。特にLLCにおけるチューター育成プログラム、評価方法、講座企画・運営、プロジェクト発表会、利用者統計の取り方、窓口運用、図書・備品管理、出勤管理などのノウハウは大変参考になりました。また、ウェルナビのイベントの企画力、運営力、集客力、人間関係づくりのためのグループワーク、教養演習での学生支援も参考になりました。このような学内の学生支援団体が相互に刺激しあいながら、MSLC独自の運営方法を模索し、「数学」「物理学」を中心とした授業連携を通して利用者を増やし、数学検定の合格者を増加させていきました。

2010年4月、名桜大学は私立大学から公立大学へ移行します。学生の県外出身者の比率も高くなり、MSLC誕生時は数理系の学生の居場所というイメージが強かったのですが、公立化後は、学生の数理的能力を向上させるに相応しい教育施設へと着実に変化していきました。2012年3月、文科省GP事業が終了した後も、その必要性が認められMSLCは継続することになりました。2013年4月、名護高等学校長を退職されたばかりの高安美智子先生が、高橋先生の後任としてMSLCを担当することになりました。

高安先生は、赴任直後から、退職教員の先生方を講師に招いて、地域の身近な事例から数理現象を深く学ぶ「数学・科学を身近に感じよう！」の連続講座や、名護高校での「数学苦手克服講座」を実現され、私は先生のパワフルさに圧倒されたことを覚えています。その後も、MSLCの当時の文化を大切にされながらも、学生チューター一人ひとりが数学力を高められるように個別指導を継続されています。毎学期、約15名のチューターを育てながら、現状に即してチューターマニュアルや研修プログラムを充実させ、独自の評価方法を開発し、数学系・情報系・医学系などの授業連携科目数を増やし続けていらっしゃいます。特に最近では、「中学生の学習支援」「入学前の特別講座(数学)」「高大接続勉強会」に代表されるように、名桜大学での「高大接続」は、もやはMSLCが担っているとも言えるでしょう。

さて、最後に一言。防災対策には「自助」「共助」「公助」の3助があるそうです。これを大学教育に置き換えると、「自律的学習」「ピア活動」「正課教育」に対応していることに気づかされます。大学生は入学時から「自律的学習者」であるべきですが、なかなか難しい。名桜大学では「ピア活動」が「正課教育」と「自律的学習」の間をつなぐ歯車として位置づけられています。2015年、「ピア活動」を行うセンターが一堂に集まる学生会館「SAKURAUM」がオープンしましたが、これはMSLCをはじめとする「ピア活動」が「正課教育」と肩を並べた歴史的瞬間ではなかったでしょうか。今後も、発展し続けるMSLCを見守り続けていきたいと思います。10周年、おめでとうございます。



文部科学省 GP 事業でシンポジウムを開催 (2011年3月)

「学生－教員間」および「教員－教員間」の知的相互作用の場



国際学群 経営情報教育研究学系
情報システムズ専攻担当 (IR 室長)

前数理学習センター長 佐久本 功 達

数理学習センター開設10周年おめでとうございます。数理学習センター (MSLC) は、私にとって学生のみなさんとの楽しい知的相互作用の場、また、ときには教員との真剣な知的相互作用の場でありました。これまでのMSLCの思い出の中から、印象に残っている2つのことをご紹介します。

1つ目は、MSLCのキャラクター「数理橋大助」と「スリ猫」のことについてです。「数理橋大助」と「スリ猫」は、MSLCの広報イメージキャラクターとして、MSLC学生チューターのみなさんが2010年7月に制作しました。原案(図1参照)が学内SNS“MEIO MEMBERS”のMSLCコミュニティ「レインボー」にアップロードされ、教員に意見・感想が求められました。このとき、私は『月間MSLC』にこのキャラクターたちが登場する「4コマ漫画」を掲載したら良いのではないかと考え、以下のような提案をしました。



図1 「数理橋大助」(左)と「スリ猫」(右)
(オリジナル原画より。

作者：三宅 真広・浜端斗睦)

面白そうですね。良いのではないのでしょうか。月間MSCLにこのキャラクターたちが登場する4コマ漫画があったらもっと面白いと思います。たとえば、このような内容はいかがでしょうか。

1コマ目：(数理橋大助が、光子ロケットを完成させたシーン。)

数理橋大助：「やったー！秒速299792458mで進む光子ロケットが完成したぞ!!」

スリ猫：「ばんニャーイ！」

2コマ目：(試験飛行。打ち上げのシーン。)

パイロットのスリ猫：「バイニャーイ！」

数理橋大助：(怒涛の涙、涙で見送っている。)

3コマ目：(曲線座標系がめぐるされた歪んだ宇宙空間を光子ロケットが航行中。)

スリ猫：(光子ロケットの窓からキラキラした目で宇宙を眺めている。)

4コマ目：(光子ロケットが地球に帰還。)

(スリ猫が、仙人のように毛むくじゃらになった数理橋大助に向かって)

スリ猫：「宇宙に黒い壁みたいなものがミャーました」

数理橋大助：「うっ、それはシュワルツシルドの壁！やはり、われわれはブラックホールの中にいたのか!!」

バックに「ガーン!!」の文字。

この提案がMSLC 学生チューターのみなさんに受け入れられたのでしょうか。『それいけ！数理橋&スリ猫』という4コマの「SF・数理ギャグ漫画」が誕生しました。『それいけ！数理橋&スリ猫』は『月間MSLC』のVol.14からVol.29(2010年9月号～2012年3月号)に全16話が連載されました。「数理橋大助」と「スリ猫」さんがあやしい物理実験を行ったり、その実験が作用したのか、突然時空を超えたり、動物に変身したりと、当時の学生チューターのみなさんも全員登場し、4コマの枠所狭しと大活躍します(最終話はとうとう13コマとなりました)。「ピカールの大定理」や「暗黒物質」などのさまざまな数学・物理学用語も登場し、誰でも楽しく愉快地数学や物理学のトピックに触れることができます内容となっています。実は、番外編も制作されており、MSLCでしか読めないということです。みなさん、ぜひ、MSLCを訪ねて、『それいけ！数理橋&スリ猫』を読んでください。数学・物理学に興味を沸くこと、請け合いです。

2つ目は、物理学のテキスト「ディラックの量子力学」のことについてです。2010年11月の初旬、名桜大学祭の準備で学生チューターのみなさんが忙しくなり始める頃のことだったと記憶しております。MSLCの勉強会で、当時、MSLCの教員をされていた高橋大介先生(実は、数理橋大助のモデルは高橋大介先生なのです)が、つぎのようなお話をされました。

「人間は、二種類に分けることができますよ。それはどういうことかということ、ディラックの量子力学を読んだ人と、まだ読んでいない人に分けられるということなんです」

この話は高橋先生の学生時代の指導教官が話されたものだということでした。私はディラックの量子力学は学生時代に購入し持っていました。心のどこかでディラックの本が気になっていたのでしょうか。MSLCの勉強会で高橋先生から聞いたこの話は、日を追うごとに、ボディーブローのごとく効いてきました。それは、紛れもなく物理学を専攻した私が「まだ読んでいない人」であるからでした。学生時代に購入したこの本、開いては閉じ、開いては閉じてきたこの本は、現在も私のそばにあります。まだ全部読んでいません。今、この原稿を書きながらも手に取り、中を覗いたりしています。おそらく、読んでも読まなくても、このディラックの量子力学と私との相互作用はこれからも続くものと思われまふ。そのようなことであれば、やはり読んだ方が良いでしょう。この原稿を書きながら決心しました。本学を退職するまでには、「ディラックの量子力学」のテキストを読破しようと思います。

MSLCにはその他にも楽しい思い出が沢山あります。たとえば、数研対策の勉強会を学生のみなさんと一緒にやったこと、数の無限と連続における「濃度」の話、正七角形の近似的作図方法の話、その正七角形の近似的作図方法がやはり近似的であったことの証明の話(少し残念でしたが)、それから日食の観測、超電導の実験、などなど枚挙にいとまがありません。これからも、本学の理工学系の教員として、MSLCの場で学生のみなさんと、また、教員のみなさんのみならず、事務職員のみなさんとも知的相互作用をさせて頂けたら幸いです。

最後になりましたが、今後も数理学習センターの益々のご発展を祈念致します。この度は、10周年記念誌への原稿執筆の機会を頂き誠にありがとうございました。

数理学習センター 10周年に寄せて



沖縄科学技術大学院大学

元数理学習センター専任教員 高橋 大介

名桜大学 数理学習センター (MSLC) 10周年おめでとうございます。学生会館サクラウムも完成し、言語学習センター (LLC) やライティングセンター (MWC) とならび、MSLC が名桜大学の学生さんに安定した学習支援を継続的に提供されていることは、教育熱心な数理学習センター長の高安美智子先生をはじめとする関係教職員の皆様のご尽力あってこそその成果であると思います。

話は MSLC 設立以前に遡りますが、私は名桜大学で語学専攻の大学院生として、また同時に非常勤講師 (数学・物理学など) として、学生と教員の両目線で文理を問わない活動をさせて頂きました。当時名桜大学には、分野を問わず学習支援を十分に受けられる場所が LLC を除いてほぼありませんでした。小学校教員免許を目指す学生や、就活の数理問題に躓く学生は、どこで質問をして良いか分からない状態でした。そこで、ウェルナビや LLC のように、学生の視線で後輩学生を指導することのできる理数系学習コミュニティーをイメージし、教務課の前で活動していた当時のウェルナビの一面を間借りして、「なんでも質問コーナー」のボランティアを始めました。これが MSLC の前身ですが、学生は気軽に質問や相談に来てくれました (人生や恋愛相談も結構ありました^^;)。このような体験が MSLC の設立と運用の方針を見据えるよい切っ掛けとなりました。

その後、平成21年度文科省 GP の一環として、名桜大学に数理系のセンター設立の依頼を木村堅一先生より頂き、限られた予算で学内の人的資源を最大限に活用できる全学対象の数理教育に取り組むことになりました。MSLC 設立の際に併設した「学習談話サロン」は、名桜大学で学生や教員とお茶を飲みながら自由に議論できる空間づくりを意識したものです。集まったチューターは数理系学力に特化した学生やコミュニケーション能力に特化した学生など個性豊かでしたが、どちらのタイプの学生も MSLC の運営に必要だと思い、両方の良さを生かせる、育成できる仕組み作りを行いました。正課授業と MSLC 連携は予想以上にうまく軌道に乗り、これらの活動を論文として学会で発表し、学外で評価されるに連れ、学内でも MSLC が広く受け入れられるようになりました。特に、チューター自身が生き生きとし、分からないことを聞かれても、調べて質問して対応しようとする姿勢や、加速的に成長していく様には感動しました。このプロセスが大学教育には重要だと実感しました。日本が抱える諸問題を学生と力を合わせ解決する未来の形がここにはあると強く思いました。学びの最大限の原動力は好奇心だと思います。好奇心が削がれてはいけません。それを育む環境整備は重要でしょう。仲間や指導者の存在が大切です。今後も MSLC の更なる発展に期待しながら、私自身も MSLC に貢献できたら幸いです。10年間本当にお疲れ様でした。

MSLC と共に歩んだ日々



国際学群 診療情報管理専攻 保健センター長

前数理学習センター副センター長 大 城 真理子

10周年おめでとうございます。長い間 MSLC と関わってきたような気がしますが、今振り返ると歴代のチューター学生の顔が思い出され、本当に懐かしいです。

私が入職したのは2012年、MSLC の活動は既にささやかながら軌道にのっているように思えました。最初の印象は「何か楽しそうに集まっている学生さんたちの居場所」というものでした。名桜祭での出展に当時小学生と中学生だった私の子たちを連れてきたところ、チューター学生が子供たちの目をしっかり見ながら、何に関心を持つのかを推し量りながら相手をしてくれました。学習支援を日常的に行っているチューターの実力を垣間見たように思いました。数理系が好きな学生が集まっている組織と認識していたのですが、興味関心を自分たちだけのものに留めず、面白さを他者と分かち合い、相手の目が輝く瞬間を自分自身の喜びとしている様子が見てとれました。

2013年前期から現在に至るまで、私はチューター学生と共に診療情報管理専攻の専門科目での連携授業を実施しています。まず、どの科目を連携授業の対象とするかをチューター学生と話し合いました。最初の年は1年次科目「人体構造機能及び医療用語」「臨床医学各論Ⅰ」を連携授業としてチューターに準備を進めてもらいました。専門科目なので授業内容について支援できるチューターは限られています。そこで科目履修済みのチューターにプリント（問題と模範解答）を作ってもらい、そのプリントを自習の教材としました。そしてMSLCに提出する期限を決め、チューターにはプリント丸付け（正解かどうか）と来室日（期限内に来たかどうか）の記録をお願いしています。チューターが作成したプリントは科目履修者の自主学習（講義外、予習および復習）の教材となりました。

その後2年次科目「臨床医学各論Ⅱ」「臨床医学各論Ⅲ」「診療情報管理特別講義」の連携授業も実現しました。また少人数ながらもチューター企画で自主的な勉強会を実行し、チューターの作問および解答による診療情報管理士認定試験の模擬試験も行われました。

チューター学生の先輩から後輩へと継承され充実していった学習支援をみていると、MSLC で生まれ脈々と受け継がれ成長する学習支援の伝統を感じます。チューターと共に学び共に歩んだ日々は教員としての宝です。これからもMSLCの活動がますます発展し充実することを願っています。

4. 数理学習センターで活躍したピア・チューターの名簿一覧

2009 年～2019 年で MSLC チューターは延べ 101 名になりました。

	前	期	氏	所	後	期	氏	所
	期	期	名	属	期	期	名	属
2009 H21 年度	H21 前～H21 後	2	石 川 由 香 里	国際学群	H21 前～H21 後	2	石 川 由 香 里	国際学群
	H21 前～H21 前	1	石 原 雅 幸	国際学群	H21 前～H21 後	2	神 野 詩 子	国際学群
	H21 前～H21 後	2	神 野 詩 子	国際学群	H21 前～H21 後	2	古 内 保 奈 美	国際学群
	H21 前～H21 前	1	古 池 亮 多	国際学群	H21 前～H24 前	7	三 宅 真 広	国際学群
	H21 前～H21 後	2	古 内 保 奈 美	国際学群	H21 前～H21 後	2	伊 禮 孝 哉	国際学群
	H21 前～H24 前	7	三 宅 真 広	国際学群	H21 後～H23 後	5	川 満 昌 久	国際学群
	H21 前～H21 後	2	伊 禮 孝 哉	国際学群	H21 後～H22 後	3	東 恩 納 寛 規	国際学群
					H21 後～H21 後	1	岸 本 龍 介	国際学群
	前	期	氏	所	後	期	氏	所
	期	期	名	属	期	期	名	属
2010 H22 年度	H21 前～H24 前	7	三 宅 真 広	国際学群	H21 前～H24 前	7	三 宅 真 広	国際学群
	H21 後～H23 後	5	川 満 昌 久	国際学群	H21 後～H23 後	5	川 満 昌 久	国際学群
	H21 後～H22 後	3	東 恩 納 寛 規	国際学群	H21 後～H22 後	3	東 恩 納 寛 規	国際学群
					H22 後～H22 後	1	富 山 裕 大	国際学群
					H22 後～H22 後	1	城 間 裕	国際学群
					H22 後～H23 後	3	浜 端 斗 睦	国際学群
					H22 後～H23 前	2	石 山 潤	国際学群
					H22 後～H23 前	2	知 花 彩	国際学群
					H22 後～H23 後	3	都 能 友 衣 子	国際学群
					H22 後～H23 前	2	当 山 まり	国際学群
					H22 後～H24 後	5	明 直 希	国際学群
	前	期	氏	所	後	期	氏	所
	期	期	名	属	期	期	名	属
2011 H23 年度	H21 前～H24 前	7	三 宅 真 広	国際学群	H21 前～H24 前	7	三 宅 真 広	国際学群
	H21 後～H23 後	5	川 満 昌 久	国際学群	H21 後～H23 後	5	川 満 昌 久	国際学群
	H22 後～H23 後	3	浜 端 斗 睦	国際学群	H22 後～H23 後	3	浜 端 斗 睦	国際学群
	H22 後～H23 前	2	石 山 潤	国際学群	H22 後～H23 後	3	都 能 友 衣 子	国際学群
	H22 後～H23 前	2	知 花 彩	国際学群	H22 後～H24 後	5	明 直 希	国際学群
	H22 後～H23 後	3	都 能 友 衣 子	国際学群	H23 前～H23 後	2	當 銘 あずさ	国際学群
	H22 後～H23 前	2	当 山 まり	国際学群	H23 前～H23 後	2	亀 安 玲 央 奈	国際学群
	H22 後～H24 後	5	明 直 希	国際学群	H23 前～H25 後	6	野 平 奈 那	国際学群
	H23 前～H23 後	2	當 銘 あずさ	国際学群	H23 後～H25 後	5	池 田 公 美	国際学群
	H23 前～H23 後	2	亀 安 玲 央 奈	国際学群	H23 後～H24 後	3	川 淵 晃 明	国際学群
	H23 前～H25 後	6	野 平 奈 那	国際学群	H23 後～H24 前	2	北 島 昌 平	国際学群
	H23 前～H23 前	1	池 村 啓	国際学群	H23 後～H24 前	2	藤 原 沙 姫	国際学群
	H23 前～H23 前	1	山 里 真 以	国際学群	H23 後～H25 後	5	宮 城 圭 介	国際学群
	H23 前～H23 前	1	山 之 内 友 梨	国際学群	H23 後～H24 後	3	宮 良 長 利	国際学群
	前	期	氏	所	後	期	氏	所
	期	期	名	属	期	期	名	属
	H21 前～H24 前	7	三 宅 真 広	国際学群	H22 後～H24 後	5	明 直 希	国際学群
	H22 後～H24 後	5	明 直 希	国際学群	H23 前～H25 後	6	野 平 奈 那	国際学群

2012 H24 年度	H24 前～H25 前	6	野 平 奈 那	国際学群	H23 後～H25 後	5	池 田 公 美	国際学群
	H23 後～H25 後	5	池 田 公 美	国際学群	H23 後～H24 後	3	川 淵 晃 明	国際学群
	H23 後～H24 後	③	川 淵 晃 明	国際学群	H23 後～H25 後	⑤	宮 城 圭 介	国際学群
	H23 後～H24 前	2	北 島 昌 平	国際学群	H23 後～H24 後	3	宮 良 長 利	国際学群
	H23 後～H24 前	2	藤 原 沙 姫	国際学群	H24 前～H24 後	2	瀬 川 千 鶴	国際学群
	H23 後～H25 後	5	宮 城 圭 介	国際学群	H24 前～H24 後	2	望 月 明 日 香	国際学群
	H23 後～H24 後	3	宮 良 長 利	国際学群	H24 後～H24 後	1	古 内 保 奈 美	国際学群
	H24 前～H24 前	1	有 島 り さ	国際学群	H24 後～H25 前	3	我 部 政 光	国際学群
	H24 前～H24 後	2	瀬 川 千 鶴	国際学群	H24 後～H25 前	2	龍 園 隼 人	国際学群
	H24 前～H24 後	2	望 月 明 日 香	国際学群	H24 後～H25 前	2	石 井 卓 真	国際学群
					H24 後～H25 前	2	川 崎 昌 太	国際学群
					H24 後～H26 後	5	末 久 哲 也	国際学群
					H24 後～H25 後	3	川 口 真 理	国際学群
					H24 後～H25 後	3	寺 村 希 美	国際学群
	前 期	期	氏 名	所 属	後 期	期	氏 名	所 属
2013 H25 年度 前期 後期	H23 後～H25 後	5	宮 城 圭 介	国際学群	H23 後～H25 後		宮 城 圭 介	国際学群
	H23 後～H25 後	5	池 田 公 美	国際学群	H23 後～H25 後	5	池 田 公 美	国際学群
	H24 後～H25 後	2	野 平 奈 那	国際学群	H24 後～H25 後	2	野 平 奈 那	国際学群
	H24 後～H25 前	3	我 部 政 光	国際学群	H24 後～H26 後	⑤	末 久 哲 也	国際学群
	H24 後～H25 前	2	龍 園 隼 人	国際学群	H24 後～H25 後	3	川 口 真 理	国際学群
	H24 後～H25 前	2	石 井 卓 真	国際学群	H24 後～H25 後	3	寺 村 希 美	国際学群
	H24 後～H25 前	2	川 崎 昌 太	国際学群	H25 前～H25 後	2	宇 都 宮 亮 太	国際学群
	H24 後～H26 後	⑤	末 久 哲 也	国際学群	H25 前～H26 前	3	飯 尾 旭	国際学群
	H24 後～H25 後	3	川 口 真 理	国際学群	H25 後～H26 後	3	大 鶴 篤 樹	国際学群
	H24 後～H25 後	3	寺 村 希 美	国際学群	H25 後～H26 後	3	崎 原 邦 達	国際学群
	H25 前～H25 後	2	宇 都 宮 亮 太	国際学群	H25 後～H26 前	2	柴 田 吉 輝	国際学群
	H25 前～H26 前	3	飯 尾 旭	国際学群	H25 後～H26 前	2	竹 田 真 衣	国際学群
	H24 後～H25 後	2	野 平 奈 那	国際学群	H25 後～H25 後	1	武 田 洋 一 郎	国際学群
					H25 後～H25 後	1	福 井 拓 巳	国際学群
					H25 後～H28 後	7	上 間 健 之 祐	国際学群
	前 期	期	氏 名	所 属	後 期	期	氏 名	所 属
2014 H26 年度 前期 後期	H24 後～H26 後	⑤	末 久 哲 也	国際学群	H24 後～H26 後	5	末 久 哲 也	国際学群
	H25 前～H26 前	3	飯 尾 旭	国際学群	H25 後～H26 後	③	大 鶴 篤 樹	国際学群
	H25 後～H26 後	3	大 鶴 篤 樹	国際学群	H25 後～H26 後	3	崎 原 邦 達	国際学群
	H25 後～H26 後	3	崎 原 邦 達	国際学群	H25 後～H28	7	上 間 健 之 祐	国際学群
	H25 後～H26 前	2	柴 田 吉 輝	国際学群	H26 前～H26 後	2	知 花 彩	国際学群
	H25 後～H26 前	2	竹 田 真 衣	国際学群	H26 前～H26 後	2	都 能 友 衣 子	国際学群
	H25 後～H28 後	7	上 間 健 之 祐	国際学群	H26 前～H27 前	3	濱 崎 あ ず さ	国際学群
	H26 前～H26 後	2	知 花 彩	国際学群	H26 後～H27 前	2	比 嘉 康 貴	国際学群
	H26 前～H26 後	2	都 能 友 衣 子	国際学群	H26 後～H27 前	2	山 下 真 依	国際学群
	H26 前～H26 前	4	宮 良 長 利	国際学群	H25 後～H28 後	7	上 間 健 之 祐	国際学群
	H26 前～H26 前	1	座 間 味 良 斉	国際学群	H26 後～H27 後	3	津 嘉 山 尚 子	国際学群

	H26 前～H27 前	3	濱崎 あずさ	国際学群	H26 後～H29 後	7	新城 公平	国際学群
	H26 前～H26 前	4	川 淵 晃 明	国際学群	H26 後～H29 後	7	荒川 珠 梨	国際学群
					H26 後～H29 後	7	渡久地 春奈	国際学群
					H26 後～H28 前	4	佐藤 孝 亮	国際学群
	前 期	期	氏 名	所 属	後 期	期	氏 名	所 属
2015 H27 年度 前期 後期	H26 前～H27 前	3	濱崎 あずさ	国際学群	H25 後～H28 後	7	上間 健之祐	国際学群
	H26 後～H27 前	2	比 嘉 康 貴	国際学群	H27 後～H27 後	4	寺村 希 美	国際学群
	H26 後～H27 前	2	山 下 真 依	国際学群	H26 後～H27 後	③	津嘉山 尚子	国際学群
	H25 後～H28 後	7	上間 健之祐	国際学群	H26 後～H29 後	7	新城 公平	国際学群
	H26 後～H27 後	③	津嘉山 尚子	国際学群	H26 後～H29 後	7	荒川 珠 梨	国際学群
	H26 後～H29 後	7	新 城 公 平	国際学群	H26 後～H29 後	7	渡久地 春奈	国際学群
	H26 後～H29 後	7	荒 川 珠 梨	国際学群	H26 後～H28 前	4	佐藤 孝 亮	国際学群
	H26 後～H29 後	7	渡久地 春奈	国際学群	H27 前～H28 前	3	太 田 樹 理	国際学群
	H26 後～H28 前	4	佐藤 孝 亮	国際学群	H27 前～H27 後	2	葉 上 里 絵	国際学群
	H27 前～H28 前	3	太 田 樹 理	国際学群	H27 前～H27 後	2	安 部 友 弘	国際学群
	H27 前～H27 後	2	葉 上 里 絵	国際学群	H27 後～H28 前	2	小 池 美 里	国際学群
	H27 前～H27 後	2	安 部 友 弘	国際学群	H27 後～H28 前	2	鳥越 由美子	国際学群
					H27 後～H28 後	2	白木澤 敦	国際学群
					H27 後～H28 前	4	河野 奈津美	国際学群
					H27 後～H28	4	勝 田 崇 仁	国際学群
					H27 後～H28 後	3	塩崎 里沙子	国際学群
					H27 後～H27 後	1	奥 川 僚 真	国際学群
	前 期	期	氏 名	所 属	後 期	期	氏 名	所 属
2016 H28 年度 前期 後期	H25 後～H28 後	7	上間 健之祐	国際学群	H25 後～H28 後	7	上間 健之祐	国際学群
	H26 後～H29 後	7	新 城 公 平	国際学群	H26 後～H29 後	⑦	新 城 公 平	国際学群
	H26 後～H29 後	7	荒 川 珠 梨	国際学群	H26 後～H29 後	7	荒 川 珠 梨	国際学群
	H26 後～H29 後	7	渡久地 春奈	国際学群	H26 後～H29 後	7	渡久地 春奈	国際学群
	H26 後～H28 前	④	佐藤 孝 亮	国際学群	H27 後～H28 後	2	白木澤 敦	国際学群
	H27 前～H28 前	3	太 田 樹 理	国際学群	H27 後～H29 後	5	河野 奈津美	国際学群
	H27 後～H28 後	2	小 池 美 里	国際学群	H27 後～H29 後	5	勝 田 崇 仁	国際学群
	H27 後～H28 後	2	鳥越 由美子	国際学群	H27 後～H28 後	3	塩崎 里沙子	国際学群
	H27 後～H28 後	2	白木澤 敦	国際学群	H28 前～H30 後	6	本村くるみ	国際学群
	H27 後～H29 後	5	河野 奈津美	国際学群	H27 後～H28 後	2	小 池 美 里	国際学群
	H27 後～H29 後	5	勝 田 崇 仁	国際学群	H27 後～H28 後	2	鳥越 由美子	国際学群
	H27 後～H28 後	3	塩崎 里沙子	国際学群	H28 後～H30 前	4	川島 さやか	国際学群
	H28 前～H30 後	6	本村くるみ	国際学群	H28 後～	7	安 田 美 里	国際学群
	H28 前～H28 前	1	宮田 真理子	国際学群				
	前 期	期	氏 名	所 属	後 期	期	氏 名	所 属
2017 H29 年度	H26 後～H29 後	7	新城 公平	国際学群	H26 後～H29 後	7	新城 公平	国際学群
	H26 後～H29 後	7	荒川 珠 梨	国際学群	H26 後～H29 後	7	荒川 珠 梨	国際学群
	H26 後～H29 後	7	渡久地 春奈	国際学群	H26 後～H29 後	7	渡久地 春奈	国際学群
	H27 後～H29 後	5	河野 奈津美	国際学群	H27 後～H29 後	5	河野 奈津美	国際学群

前期 後期	H27 後～H29 後	5	勝 田 崇 仁	国際学群	H28 前～H30 後	⑥	本村 くるみ	国際学群
	H28 前～H30 後	⑥	本 村 くるみ	国際学群	H28 後～H30 前	4	川島 さやか	国際学群
	H28 後～H30 前	4	川 島 さやか	国際学群	H28 後～	7	安 田 美 里	国際学群
	H28 後～	7	安 田 美 里	国際学群	H29 前～H30 後	4	平 川 拓 磨	国際学群
	H29 前～H30 後	4	平 川 拓 磨	国際学群	H29 前～H30 後	4	大草 みゆき	国際学群
	H29 前～H30 後	4	大草 みゆき	国際学群	H29 前～H29 後	2	玉 城 遼	国際学群
	H29 前～H29 後	2	玉 城 遼	国際学群	H29 前～H30 前	3	鶴 尾 春 香	国際学群
	H29 前～H29 後	2	鶴 尾 春 香	国際学群	H27 後～H29 後	5	勝 田 崇 仁	国際学群
	H29 前		中 村 麻 圭	国際学群	H29 前～H30 後	4	平野 菜津弥	国際学群
	H29 前～H30 後	4	平野 菜津弥	国際学群	H29 前～H30 前	3	屋 部 藍 華	国際学群
	H29 前～H30 前	3	屋 部 藍 華	国際学群	H29 後～H30 前	2	大 城 怜 菜	国際学群
					H29 後～	4	宮川 寛太郎	国際学群
	前 期	期	氏 名	所 属	後 期	期	氏 名	所 属
2018 H30 年度 前期 後期	H28 前～H30 後	6	本 村 くるみ	国際学群	H28 前～H30 後	6	本 村 くるみ	国際学群
	H29 前～H30 後	4	平 川 拓 磨	国際学群	H29 前～H30 後	4	平 川 拓 磨	国際学群
	H29 前～H30 後	4	大草 みゆき	国際学群	H29 前～H30 後	4	大草 みゆき	国際学群
	H29 前～H30 後	4	平野 菜津弥	国際学群	H29 前～H30 後	④	平野 菜津弥	国際学群
	H29 前～H30 前	3	屋 部 藍 華	国際学群	H29 後～H30 後	3	内 田 大 貴	国際学群
	H29 後～H30 前	2	大 城 怜 菜	国際学群	H29 後～H30 前	2	伊 藤 幸	看護学科
	H29 後～H30 後	3	内 田 大 貴	国際学群	H28 後～	7	安 田 美 里	国際学群
	H29 後～H30 前	2	伊 藤 幸	看護学科	H29 後～	4	宮川 寛太郎	国際学群
	H29 後～	4	納 沢 汐 梨	国際学群	H29 後～	4	納 沢 汐 梨	国際学群
	H30 前～	3	夏 目 晃 汰	国際学群	H30 前～	3	夏 目 晃 汰	国際学群
	H30 前～	3	馬 場 星	国際学群	H30 前～	3	馬 場 星	国際学群
	H29 前～H30 前	3	鶴 尾 春 香	国際学群	H30 後～	2	具志堅沙梨奈	看護学科
	H29 前～	5	宮川 寛太郎	国際学群	H30 後～	2	島 袋 愛 子	看護学科
	H28 後～H30 前	④	川 島 さやか	国際学群	H30 後～	2	比 嘉 双 葉	看護学科
	H28 後～	7	安 田 美 里	国際学群				
	H30 前～H30 前	1	本 波 詩 菜	国際学群				
	前 期	期	氏 名	所 属	前 期	期	氏 名	所 属
2019 R1 年度 前期	H28 後～	7	安 田 美 里	国際学群	R 元前～	1	亀 井 謙 二 郎	国際学群
	H29 前～	5	宮川 寛太郎	国際学群	R 元前～	1	杜 銀 偉	国際学群
	H29 後～	④	納 沢 汐 梨	国際学群	R 元前～	1	田 中 里 奈	国際学群
	H30 前～	3	夏 目 晃 汰	国際学群	R 元前～	1	西 晃 人	国際学群
	H30 前～	3	馬 場 星	国際学群	R 元前～	1	吉 高 恵 理 菜	国際学群
	H30 後～	2	具志堅沙梨奈	看護学科	R 元前～	1	芝 毬 香	国際学群
	H30 後～	2	島 袋 愛 子	看護学科	R 元前～	1	水 谷 日 向 子	看護学科
	H30 後～	2	比 嘉 双 葉	看護学科				

※期の欄の○の囲み数はその期のチューターリーダー

5. MSLC チューターの活動 10 年を振り返る

2009 年 MSLC 発足当時のスタッフ

佐久本功達センター長 専任教員 高橋大介 MSLC 職員 大城真紀

チューター 石川由香里・石原雅幸・神野詩子・古池亮多・古内保奈美・三宅真広・伊禮孝哉



広報誌 23 号

掲載日：2010 年 2 月 1 日 数理学習センター (MSLC)

【講義棟 2F 202 教室】 利用時間 13：00～17：00（質問・相談受付）

9：00～22：00※水・木の午前中を除く（学習談話サロン）

MSLC では、理数系の問題で悩んでいるときや、レポートのやり方がわからないときなど、学習全般に関する相談や学習支援を行っています。センターでは、理数系はもちろん、その他にも英語や国語、社会などの参考書や問題集が用意されています。レポートや試験対策などの学習をサポートする学生チューターが、みなさんと一緒に日頃の学習を支援しています。

◆施設紹介◆

学生チューターや幅広い利用者が集まる当センターでは、チュータリング等の活動を通して、普段の授業ではあまり教わらないようなレポート作成のスキルや、学生にとって有意義な学習情報などがいろいろ集まっています。

また、センターには「学習談話サロン」というスペースがあり、そこではお茶を飲みながらテレビを見たりお菓子を食べたりすることができ、教職員の方々や先輩・後輩たちと楽しくコミュニケーションをとりながら、ゆっくりとくつろぐ空間があります。テレビでは CS、BS などの衛星放送をみることができ、CNN やディスカバリーチャンネルなどの海外番組を英語でみることもできます。グループワークやゆんたくができる円卓もありますので、是非一度、このような環境を利用して、自分のペースでゆったりと学習してみたいはいかがでしょうか。MSLC メンバー一同、皆さまのご利用をお待ちしております。

●第1回学生支援プログラム 2009年上半期

これから数理学習センター（MSLC）の発表を始めます。

まずメンバー紹介をします。副リーダーの国際学群 2 年次、古内保奈美です。スポーツ健康学科 4 年次、石川由香里です。スポーツ健康学科 4 年次、神野詩子です。観光産業学科 4 年次、古池亮多です。国際学群 3 年次、石原雅幸です。国際学群 3 年次、伊禮孝哉です。そして、チューターリーダーの国際学群 2 年次、三宅真広です。よろしくお願いします。

★1.数理学習センター(MSLC)とは



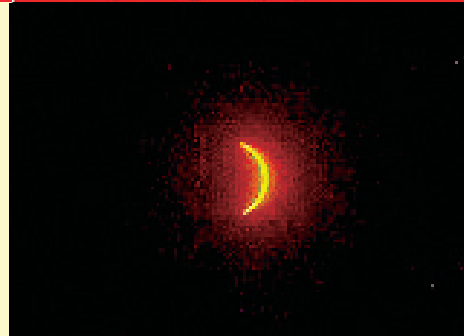
★2.学習談話サロン



★3.活動内容(オープンセレモニー)



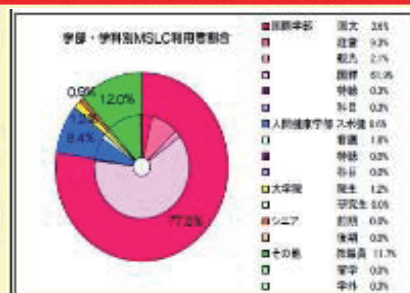
★4.皆既日食



★5.数学検定対策講座について



★6.前期の学部学科別から(統計)



★7.センターの充実について



★8.最後に



MSL 数理学習センター & 学習談話サロン MSL

数理学習センター（MSLC）の発表を始めます。

まず数理学習センター（MSLC）について紹介します。MSLC とは、Mathematical Science Learning Center の略で、理数系を中心に幅広く学習支援活動をしています。MSLC は「笑顔と知識の宝庫!？」をキャッチフレーズに、先輩・後輩や教員たちとの交流の場となっているとともに、理数系はもちろん、他教科の問題集・参考書などもそろっています。MSLC では、お茶やお菓子を食べながらテレビ鑑賞や、談話することができる学習談話サロンもあります。また、学生同士だけでなく教職員の方々とも気楽にくつろげる空間となっているので、講義では少し距離のある先生でも気軽に話ができるなど、普段とは違う雰囲気でお互い接することができ、新たな発見ができるのではないのでしょうか。学習面に限らず、最近の出来事や恋愛事情など身近なことはもちろん、数学検定や宇宙についてなど専門的なことまで気軽に話ができる場所となっているので、ぜひ足を運んでみてください。

数理学習センター（MSLC）概 《メンバー》 三宅真広 吉内保奈美 石川由香里 神野詩子 伊藤孝哉 東秀生 川満昌久 平田彩乃 	数理学習センター（MSLC）とは？ Mathematical Science Learning Center  【笑顔と知識の宝庫!？】	MSLCの目的 ①理数系教科への興味向上、及び基礎学力向上 ②自主学習のサポート ③補修対応・就職率の向上 ④地域貢献 MSLC? 
学習談話サロン ♪先生との会話♪  GS! BS!! 	活動内容パート1（チュータリング）  グループ活動!!!  丸付けもおまかせ♪	活動内容パート3（CHALLENGE96） 公文式でこつこつと！ 1枚終わればスタンプをゲット！！ 96枚終わったら・・・ みんなの挑戦待ってるぜ!!! （配布資料8ページをご覧ください）
名桜祭!!! 液体窒素実験!!!  マイナス196度の世界・	活動内容パート2（数検対策講座） クラスを二分化!!! 準2級⇒ チューター 2級⇒ MSLC講師 この2クラスで開講中!!!	 おわり MSL

MSLC一周年おめでとう！！

2009年利用風景



2010年利用風景



チュータリング風景



皆さま、こんにちは。先月の六月二十四日（木）で、MSLCがオープンセレモニーを開いてから、丁度一年が経ちました。思い返せば昨年六月二十四日、瀬名被学長の挨拶を聞き、清水学群長の温かい言葉と、LLCの津嘉山先生の手作りお菓子の匂いで心落ち着かせ、MSLC講師の高橋さんの挨拶でまた緊張し始め、チューターの挨拶で緊張のピークに達したことを今でも覚えていいます。

この一年で、MSLCはどれほど変わったのか気になる方もいると思います。そこで、MSLCがオープンしたての写真と現在の写真を見比べてみることにしました。

今ではこんなにも広くてスツキリとしたセンターとなりましたが、当初は教室の三分の一のスペースでした（左写真参照）。書籍も少なく、使えるPCの数もわずか。でも今では円卓やノートPCの導入で、グループワークはもちろん、レポート作成などの自習で訪れてくれる学生が増えました（左写真参照）。

昨年六月の利用者数は、二百十八人（平成二十一年度六月統計データより）。地道な広告での宣伝を始め、ホームページを作成してもらうべく活動してきました。その結果、今年六月の利用者数は三百五人（平成二十二年六月統計データより）。なんと昨年六月の利用者数に比べ、今年は百人近くも増えました。

MSLCはこれからも進化し続けていくと思います。それは、支えてくれる教職員の方々、利用してくれる学生がいるからです。ありがとうございます。これからもMSLCをよろしくお願いします。

月刊MSLC

7月号
Vol. 12

担当者：
MSLC チューター
古内 保奈美
発行日：10/07/15

今月のお知らせ

MSLC正規チューター募集！
締切7月21日！！

平成二十二年後期の正規チューターを募集しています！
★条件：数学や理科に興味がある、人と接するのが好き
★こんな人、大歓迎
①人と話す事、人に教える事が好き
②情報系が得意
③広告などのデザインを考えるのが好き
④名桜大学で何か成し遂げたいことがある人など！
情報系が好きな人も募集！
詳しくはMSLCにて☆

数検@名桜 締切23日まで！

<数学検定実施日>

実施日：2010/8/28(土)

時間：午前9:30

受付場所：名桜大学講義棟202教室 数理学習センター (MSLC)

ちやらくるフェスタに願いを込めて(*-ω-)

七月五日から九日の五日間、「ちやらくるフェスタ」が開催されました。このイベントは、いつも使っている名桜大学に感謝の気持ちを込めて清掃すること。そして、七日の七夕では、きれいに清掃した名桜大学で、短冊に願いを書き込み、皆で星をみようではないか！そんな願いを込めたものです。

その日は曇りだったので、星を見ることはできませんでしたが、七夕ではHIP-HOPサークル、名桜工芸部の協力で盛り上がる事ができたと感じます。SCSのかき氷も好評でした。

拾い集めたゴミには、飲み残したペットボトルや缶、煙草の吸殻、壊れた傘、お菓子の袋など、ゴミ箱が用意されていたのにも関わらず捨てられていました。これを機に、ゴミを出したら分別し捨てる。机に落書きをしないなど、当たり前のことを一人一人やる！ということが、大事なことでないかと思えます。

この五日間、清掃活動やイベントに協力してくれた団体の数は、なんと七団体！これからも名桜大学を大切に使用して行きましょう！ありがとうございます！



チャレンジ問題！

()に適切な言葉をいれなさい。

- ①「満塁ホームラン」のことをカタカナで()という。
- ②大相撲の三役とは、大関、関脇、()である。
- ③アカデミー賞で贈られる黄金の像を()という。

今月のおすすめ本



えっ！こんな身近な植物にも毒があったの？
気づいた方は、ぜひチェック！

皆さん、こんにちは。歩いて行くをかくきりになりました。今回はMSLC一周年ということもあり、昨年と現在の統計や写真を比べてみました。確かに名桜大学はどちらかと言えば文系という学生が多く、数検と聞いただけで難い！な方も多くいます。かくいう私もその一人でした。苦手なことをやろうと、何らかのきっかけでやることに。人生とは本当に何が起こるか分からないので、思う今日この頃です。
(古内)



先月の答え：①キリスト ②こま ③胴體 ④東風 ⑤蜘蛛

それ、無理橋といけ！
ズリ猫

みなさん、こんにちは。春休みはいかがお過ごしでしょうか。MSLCの春休みはというと、来期の活動がスムーズにスタートできるよう、後学期のまとめと新学期的準備をチューターのみなで行っております。そんなわけで今回は、新年度を迎える前準備のひとつとして、二〇一一年度MSLCの活動の一年間を振り返ってみたいと思います。新入生ガイダンスで活動が始まった今年度のMSLC。おそろいの特製ポロシャツを包み、学群レクや新入生歓迎スポーツ大会に参加いたしました！結果は惨敗……五月には2周年記念パーティが開催され、OB・OGチューターも交えて楽しい時間を過ごすことができました。また

2011年度3年目のMSLCはジャンプの年!!!

1ホップ→2ステップ!!

た前期ではオープンキャンパスやITスクール、ちゅらくるフェスタなどのイベント参加がたて続けで盛りだくさんでした。そして新規メンバーを迎えた後学期も、通常のチューター業務に加え、各班に分かれての名桜祭準備、さらには日本リメディアル教育学会の研究会や素粒子シンポジウムの準備と大忙しで、MSLCという施設が着実に躍進しているのをとても感じた一年間でした。果たして次年度もMSLCはどのような成長を遂げるのか、左う二期待です！

月刊MSLC
Vol. 29
3月号
年度末拡大

担当者:
MSLC チューター
浜端 斗陸
発行:2012/3/23

今月のおすすめ本 紹介人 本フックン

マンガでわかる**統計学**シリーズ

「統計を基礎から学びたい！」そんな方にオススメです！1作目の「マンガでわかる統計学」と「図解分析編」・「因子分析編」はストーリーもつながっており読みやすくわかりやすいです！看護師向けの「ナースの統計学」もありますよ～。

211
210
212

チャレンジ問題！ 先月の答え

① 150通り
男子6人中2人、女子5人中2人を選ぶには
 ${}_6C_2 \times {}_5C_2 = \frac{6 \times 5}{2 \times 1} \times \frac{5 \times 4}{2 \times 1} = 150$

② 52%
全体である100%から、「1枚引いて3または4でも割り切れない数を引く確率」を引く。
するとその確率は
 $(16 + 12 - 4) \div 50 \times 100 = 48\%$
であるため
 $100\% - 48\% = 52\%$

MSLC社会人基礎力プロジェクト発表会

二月二十八日火曜日、MSLCにて「社会人基礎力プロジェクト」(通称「MxKAY」)による発表会が行われました。「チューターによるチューターのためのマニュアル作成」を目的に昨年の十月から始動したこのプロジェクトは、今後のMSLCチューターの向上を目指した取り組みを行ってききました。

発表会の様子

メンバーのみなさん、発表者は目につきやすいおつかれ顔でした！「親父の小屋」

2012(平成 24)年 MSLC プロジェクト発表会

MSLC では、平成 24 年 2 月 3 日(金)に MSLC プロジェクト発表会を行いました。この発表会では、後学期チューターによって毎週行われた各講座の成果や反省を報告し、次学期への取り組みについて話し合いました。質疑応答の中で、MSLC の改善点・良い点について意見を頂くことができました。皆様の意見を基に、今後の活動へ生かしていきたいと思います。参加したださった皆様ありがとうございました。

MSLC チューター講座報告



IT パスポート試験対策講座 <担当チューター：浜端・明>

今学期、IT パスポート試験の出題範囲を扱っている「コンピュータ概論」の講義と連携した対策講座を実施しました。講義を受講している学生が、復習・予習の場として、本講座を活用していました。「分かりやすい」と、解説に定評があり、とても充実した講座となりました。

数検対策講座 準 1 級 <担当チューター：都能>

この講座は、チューターが教えるというよりも、皆で問題を解いていく形式で進めました。一人が、何か問題につまずいたら、答えを導くために皆で考え、楽しく数学を勉強しました。数学をもっと勉強したい、してみたい人は、ぜひ一緒に勉強しましょう!

数検対策講座 2 級 <担当チューター：川満・宮城>

この講座は、①数検 2 級合格を目指す②数学に興味を持ってもらう、という 2 つの目的で開講しました。受講者が、苦手な分野の復習、講義前の予習などに取り組める形式にしました。これからも数学検定対策講座を行う予定ですので、数学が苦手な人もそうでない人も、ぜひ受講してください!

数検対策講座 準 2 級 <担当チューター：川淵・北島>

この講座は、数学検定準 2 級取得を目指す学生や、数学の講義を受講している学生のサポートを目的として開講しました。今学期は、利用者が少なく上手く活用してもらえなかったため、来学期は、上手く活用してもらえるように、対策を練ってまいります。



名桜大学祭にて出店&公開実験

MSLC は、名桜大学祭で出店・公開実験を行いました。実験班と販売班に分かれ準備に取り組み、名桜祭でその成果を披露しました。実験班では、液体窒素実験・静電気実験・ピタゴラスイッチを行い、販売班ではコーヒー・ココア・クッキーを販売しました。名桜祭 2 日間で 431 人の方々が MSLC に来場し、各実験を見てもらいました。また、出店のコーヒー・ココア・クッキーも大好評でした。



2012（平成24年）チューターの活動風景



HOME ▶ 実用数学技能検定グランプリ奨励賞を受賞

実用数学技能検定グランプリ奨励賞を受賞

平成24年5月17日（木）、財団法人日本数学検定協会から「実用数学技能検定グランプリ奨励賞」が本学に授与された。この賞は、数学検定を継続して活用し、効果的な学習成果を挙げた団体に対し贈られるものである。

本学では、数学検定実施校として、数理学習センターが年2回実施する他、学生チューターによる数学検定対策講座（準2級～準1級）が、積極的に取り組まれている。

6月8日（金）、数理学習センターの佐久本功達センター長と高橋大介講師、大城真樹係員、学生チューターの宮城圭介さん（国際学群2年次、那覇西高校出身）、都能友衣子さん（語学教育専攻3年次、愛媛県・済美高校出身）、三宅真広さん（語学教育専攻4年次、大阪府・初芝高校出身）が、瀬名波学長を訪れ受賞を報告した。

瀬名波学長からは、「大変名誉なことである」と祝福の言葉が贈られた。



★ 前列左から瀬名波学長、都能さん、宮城さん、三宅さん

★ 後列左から佐久本センター長、高橋講師、大城係員、金城国際学群長

2013(平成 25)年度 後期 数理学習センタープロジェクト

I 「数学や科学を身近に感じよう！」

やんばるの自然や生物に詳しい地域の方々(退職教員)も講師に招き、MSLC チューター及び本学の学生に数学や科学を身近に感じてもらうとともに、やんばるの自然のよさや環境問題における興味関心を高める目的で、11月から1月にかけて以下の7回の講座を実施しました。

<第1回> 11月8日(金)

①数の不思議 ～数学と芸術と自然現象～

講師：高安美智子（数理学習センター長）

<チューターの感想>

「数に支配されている」「数の規則性により社会や自然が成り立っている」という印象を受けてしまいそうになったが、美しいもの・ことには理由がありその真理を追い求めると数字で証明されることも、また一つの美だということに感動した。

しかしむやみやたらに数に惑わされないように気を付けようと思う。



<第2回> 11月15日(金) ②天体現象を学ぶ ～天体観察会～

講師：志良堂清明氏（元高等学校教諭：物理 名護市宮里在住）



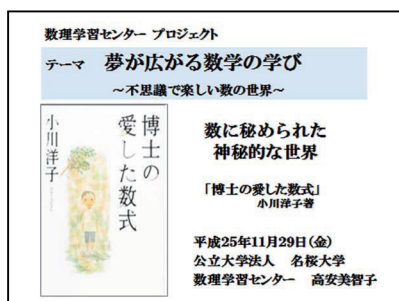
②天体現象を学ぶ 星々の世界(宇宙)への案内

- 1 宇宙というところ
- 2 宇宙からの便り
- 3 星々を見る
- 4 宇宙への興味を広げる

今夜の夜空は何だろう？あの時、キレイな星を見たなあと童心に帰ることができた。UFO を見つけて宇宙人を捕えるという夢を叶いたいと思った！！安田くんが非常にくわしいことが一番の発見だった。ありがとうございました。

<第3回> 11月29日(金) ③数の不思議 ～数の並びと速算～ 講師：高安美智子

～身近な物理現象を考える～ 講師：宮城圭介（数理学習センターチューター）



数がこれほどきれいに並ぶのはすごい！数字には、沢山の面白い計算方法があるということに気づかされた。



めちゃ楽しかった！！PET 最高～♪
ペットボトルも、科学をつかって考えられてつくられていると知って面白

＜第4回＞ 12月 6日（金） ④物理を楽しむ ～実験を通して物理現象を学ぶ～

講師：比 嘉 恵 一 氏（元高等学校校長：物理 名護市屋部在住）



世の中の全ては物理で解き明かせるような気がしてワクワクしてきました。気圧の力を利用すれば、私にも彼女ができるでしょうか？クリスマスまであと少しです！ぜひ教えてください。

身の回りの道具で非常におもしろい実験を見せてもらいました。何でもない当たり前の身の回りの現象にもっと興味を持とうと思いました。

＜第5回＞ 1月 9日（木） ⑤原子力と放射能

～福島第一原発事故について考える(1)～

講師：比 嘉 恵 一 氏



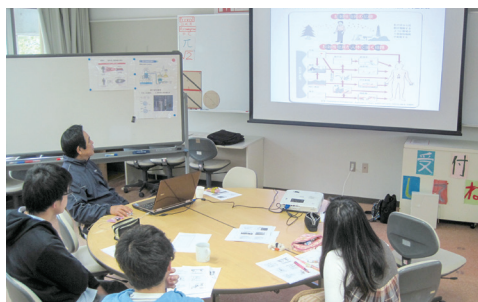
原発について安易に考えていたが、とても深刻な問題なのだなと実感した。これを自分たちが将来に残さないようにするために、何かやってみようと感じられる時間になった。

ニュースや新聞などでは取り上げられていない問題についてもわかりやすく教えていただきたためになりました。私は原発推進派の意見をきく機会があったのですが、やはりこのような話をきくと原発の恐ろしさをしり、日本はすぐにでも脱原発の方向へとすすむべきだと思いました。

＜第6回＞ 1月16日（木） ⑥原子力と放射能

～福島第一原発事故について考える(2)～

講師：比 嘉 恵 一 氏



自分の知らないことを多く知ることができて良かった。誤認の知識も多くあったので、これを多くの人に伝えていこうと思った。

福島原発事故は起こってはならない事故ではあったが、これから、脱原発の方向に日本が進んでいく良い機会にもなったのかなとも思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

＜第7回＞ 1月23日（木） ⑧やんばるの自然 ～やんばるの自然を映像で見る～

講師：友 利 哲 夫 氏（元高等学校教諭：生物 名護市宮里在住）



沖縄ってすごいんだなーと思った。やんばるの森に興味があったのでこういう機会はとてもうれしかったです。小さな沖縄に貴重な生物が数多くいるとは思ってなくて、その数におどろいたことと、原始的な生物の多さにおどろいた。他の離島にも固有の生き物がいるのか、気になったので少し調べて見ようかと思います。

地域の優れた人材を講師に招いて、地域の自然や福島原発事故と放射能の問題などについて学ぶことができました。大学生として環境やエネルギー問題等について自分なりの意見を持つきっかけにもなり有意義な講座となりました。もっと多くの学生に聞かせたい充実した内容でした。

名護高等学校「数学苦手克服講座」

名護高校
数学苦手克服講座

講座担当チューター
末久哲也
川口真理 柴田吉輝

地域の生徒への学習支援
→学力向上により進学率アップ、地域活性化



名桜大学に来る学生も増える可能性が..!

地域の生徒への学習支援

→学力向上により進学率アップ

学習支援で地域貢献!

目的: 数学力向上、進学率向上のための学習支援

目標: 数学に対する苦手意識の改善

内容: 数学 I・A 基礎からセンター対策

時間: 毎週火・金 16:30~18:00

場所: 名護高校視聴覚教室

・対象: 名護高校2年生の受講希望者
→受験に向けての勢い付け

・内容: 1) 高校1年生の学習範囲(数1・A)
→基礎学力の向上

2) 定期的な確認テスト
→学習内容の定着化



1月8日(金)からスタート!
参加者40名程度

講座の進め方

- ・まず、生徒に問題を解いてもらう。
- ・そして、1人のチューターが黒板を使って問題の解答・解説を行う。
- ・黒板で解答・解説を行っていない他のチューターは個別で生徒の解らない問題の解説を行う。



授業の感想

- ・とても丁寧! ・面白い!
- ・大学生による授業という形が新鮮で楽しかった!
- ・詳しい説明で分かりやすい!
- ・面白いからまた来たくります!
- ・次回も開講してほしいです!

成果...チューター自身の数学力と
チュータリング力の向上
課題...学生の理解度に応じた課題



写真1 名護高等学校視聴覚教室にて「数学苦手克服講座」



写真2 個人指導を受けている様子

今回は、直接現地に行って学習支援で地域貢献をしたいというチューターの強い要望があり、3人のチューターが名護高校に出向いて11月から2月にかけて学習支援活動を行いました。新しい取り組みでしたが、チューターも受講生も意欲的に継続して実施することが出来ました。高校生にとって大学生から指導を受けることは、とても新鮮でやる気につながったという声も聞かれました。チューターからは、高校生の意識の高揚、数学力向上を感じるとともに、チューター自身のやる気、達成感が感じられたという報告内容でした。

◆ 受講生の最後のアンケートでは、①数学が好きになった、②学習時間も増えたという結果が出ていました。チューターも、目標の数学苦手意識の改善に貢献できたのではないかと自信に繋がったようです。

チューターの振り返りでは、高校生たちに毎回、授業とは違うスタンスで指導するという心を心がけ、たくさんさんの思いや勉強法、数学の面白さを伝えることができたというコメントがありました。さらに、名護高校生がもっと名桜大学に関心を持って入学してくれることを期待したいという思いも寄せられました。

2013（平成 25）年度 教養教育センター主催 F D 研修会 「ファシリテーションの理論と実践」の実施報告書

本学の教養教育の特色は、教養教育カリキュラムの全学共通化を図るとともに、学生の主体的な学びの構築を目指して、「アクティブ・ラーニング」を推進しているところです。そのためには、授業改善の新しい指導技術の獲得が求められています。そこで今回は、平成 26 年 1 月 29 日（水）に京都産業大学で「F 工房」を企画されているファシリテーションの理論と実践に詳しい鬼塚哲郎氏と中西勝彦氏のお二人を招き、教養教育センター主催の F D 研修会を開催致しました。

本学の特徴として名桜ウエルナビ、言語学習センター、数理学習センター、S-CUBE 等の活動により、教職員と学生が協働で学生・学習支援等を行うシステムを構築しているところがあげられます。そこで、今回の「ファシリテーション研修会」では、上記の 4 つの団体の代表者が教職員と一緒に、場づくり、議論の構造化、合意形成の方法などについて、グループワークも取り入れ理論と実践を学びました。

今回の F D 研修会は、教職員及び学生にとって、グループ学習やディスカッション等に必要なスキルを向上させる研修内容で、今後の活動や授業等に活かせる内容でした。教職員と学生が協働で学び合う初めての取組でしたが、双方の感想から、有意義な研修会となったことがわかり、画期的な F D 研修会となりました。

【講師】 鬼塚 哲郎 氏（京都産業大学 F 工房事業統括/文化学部教授）
中西勝彦氏（京都産業大学 共通教育推進機構 F 工房担当コーディネータ）



- 【研修内容】
1. ファシリテーションの歴史を学ぼう
 2. 小集団における変化はどのようにして起きるのか？
 3. 変化を促進するもの/阻害するもの
 4. コンテンツとプロセスを分けて振り返ろう
 5. ファシリテーターの役割



【コンセンサスゲーム グループワーク 名桜大学の良いところは？】

今回の F D 研修会に参加した学生は、事前に著書「ファシリテーション入門」を読み、事前学習を行った上で研修会に参加しました。そのため、実践により理解がさらに深まった様子が、感想から伺えます。今回の研修は、教職員と学生がともに学び、より良い大学の構築に寄与することが期待できる有意義な研修会となりました。

【参加者】 学生有志 21 名程 教職員 61 名

2013（平成25）年度 リーダーズ団体交流会及びファシリテーション研修会報

平成 26 年 2 月 1 日（土）に、全学の学生・学習支援活動を行っている学生団体、リーダーズ（ウェルナビ・言語学習センター・数理学習センター・S-CUBE4 団体リーダーで構成）による団体交流会を、本学学生食堂にて開催しました。この交流会のねらいは、①各団体への相互理解を深め互いに円滑な協力体制を整えていくこと、②支援対象となる学生との良好な対人関係構築や効果的な学生・学習支援を行なうための技術向上を促すことにありました。初めての試みとなったリーダーズ交流会でしたが、41 名の学生と 7 名の担当教職員が積極的に参加しました。内容として、それぞれの団体が果たす役割をより深く理解するため、実際に各団体で行なっているイベントやワークショップ等を、みんなで楽しみながら展開していました。また、平成 26 年 1 月 29 日（水）に行なわれた教養教育センター主催の FD 研修会、「ファシリテーション研修会」へ参加した各団体代表者による報告及び振り返りも併せて行いました。参加した学生からは「他の団体に行ったことがなかったので、（どのような取り組みをしているのか）知ることが出来てよかった」「もっと学生に（自分達の取り組みを）広げていきたい」といった感想が寄せられ、当初の目的を達成することができた会となりました。



写真 1. ウェルナビ主催行事
問題解決に向けた話し合い風景

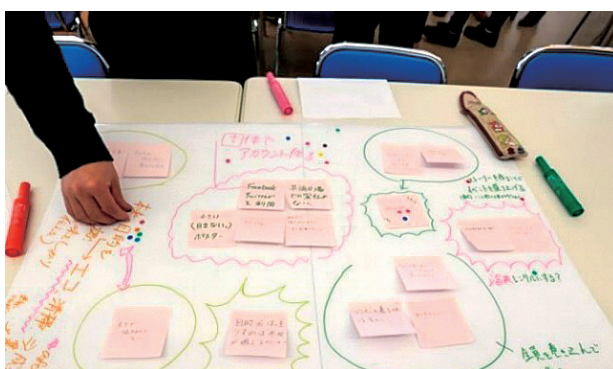


写真 2. グループ毎に作成した問題解決策のまとめ

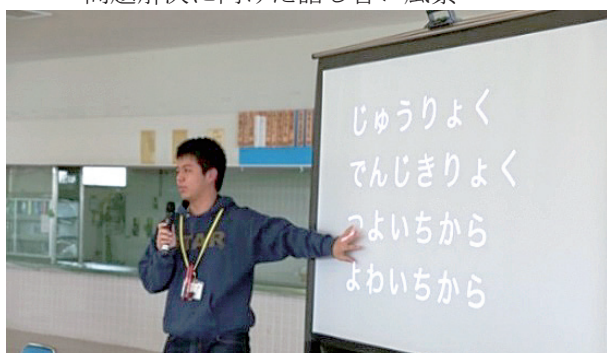


写真 3. MSLC チューター物理の実験風景①



写真 4. MSLC チューターによる物理の実験風景②



写真 7. S-CUBE 主催の自己発見レポート作成風景①



写真 8. S-CUBE 主催の自己発見レポート作成風景②



写真 9. S-CUBE 主催の自己発見レポート作成風景③



写真 10. S-CUBE 主催の自己発見レポート作成風景④



写真 11. ランチタイムを利用した団体交流風景



写真 12. リーダーズ交流会終了後の集合写真

2014/3/12
数理学習センター担当：大城

MSLC 活動5周年記念パーティー（2014年5月10日）
 設立当初のOGも参加し後輩へのアドバイスもありました。



2014年後期



天体望遠鏡を組み立てもらった高橋先生

2014 年度名桜大学開学 20 周年・公立大学法人化5周年記念事業「記念講演会」報告書

演題『真の国際人を目指すために』 講師：ピーター・フランク氏（数学者）

名桜大学開学 20 周年・公立大学法人化 5 周年を記念して 2015（平成 27）年 1 月 15 日（木）に本学多目的ホールにて、数学者のピーター・フランク氏を講師に迎え、演題『真の国際人を目指すために』と題して「記念講演会」が行われました。会場には学生・地域の方々約 350 人が集まりました。

山里勝己学長から、「今年は本学の開学 20 周年・公立大学法人化 5 周年を記念して、学生会館 SAKURAUUM（サクラウム）の建設や記念講演会など、様々なイベントが開催されております。本日は、数学者ピーター・フランク氏をお招きして、本学の教育活動で重点的に進められている『国際人とは何か』について、数学者の立場から語っていただきます。」というあいさつで始まりました。

ピエロ姿でジャグリングをしながら「ハイサイ チューウガナビラ」と舞台に現れたピーター・フランク氏は、ユーモアあふれるつぶやきで最初の笑いを誘い、楽しい話、深い話を織り交ぜながら、すぐに聴衆を引き付けました。

「真の国際人とは、英語が話せることでも知恵があることでもありません。新しい出会いに心開き、『寛容』になれる態度であり、互いの自由を認め広く受け入れる心の問題である。そして国際化とは、互いの国の譲り合いである。」というお話でした。『愛国心』とは、お母さんに対する愛のようなもの、両親の教え「人間の最大の財産は頭と心の中にある」という言葉が印象的でした。

数学の話題から国際文化、歴史、政治等の豊富な話題のすべてが、演題『真の国際人を目指すために』に繋がる内容であり、本学の教育理念を後押ししてくれる充実した講演でした。



写真1 ピエロ姿でジャグリングをしながら登壇



写真2 豊富な話題で惹きつけられた聴衆の様子

質問タイムでは、学生から質問が次々と沸き起こりましたが、ピーター氏は丁寧に答えられ、学生たちの満足度はかなり高いものとなったようです。特に、最後のメッセージ「KEEP YOUR HEART OPEN!」（心を常にもっと開いた状態。新しい出会いがいつ訪れるかわからない、常にその準備をして欲しい。）は、学生の心を大いに揺さぶるメッセージとなりました。

学生の感想より

○アメリカが国際化していないという考えは思い付かなかったが、話を聞いてみて納得した。沢山の国と沢山の協定を結んでいて、一見、国際的に見えるが内容に関してはあまり協調性がない。視点を変えて物事を見ることは難しいが大切だと感じた。

講演の技術が凄いなと思った。最初の入場から大道芸で惹きつけて、数学に終わるという流れに自然と思考が持っていけた。あんなプレゼンテーション能力を身に付けたいと思った。

○「愛国心は、お母さんに対する愛のようなもの」この言葉を大事にしていきたいです。「国のために死ぬ」ような乱暴な愛国心より暖かい言葉だからです。

○ピーターさんの話は学ぶ事がとても多かったです。他人との比較をするより、自分の幸せを感じる事が大事だという事。よく知らない相手に初めから拒絶するのではなく、相手にも自分にもプラスになると強く思い、心の扉を開ける事。それら以外の大道芸や数学の問題を出したりする場面も楽しませていただきました。

◆2014(平成 26)年度 MSLC 設置 5 周年を記念した数学者：ピーター・フランク講演会の企画が、名桜大学開学 20 周年・公立大学法人化 5 周年記念事業「記念講演会」として開催され大盛況でした。

2015 年前期MSLCプロジェクト発表会の報告より

「診療情報管理士勉強会」

★この「診療情報管理士勉強会」は、5/22～7/17 毎週金曜 4 限に大城真理子先生との連携授業担当のチューターが主催し、開催しました。勉強会には、「診療情報」の受講生だけではなく、診療情報管理士を目指す1年次から4年次までの20人余りが参加しました。勉強会に向けて、教材研究に熱心なチューターの姿勢に周囲のチューターも大いに刺激を受けました。

グループワークや一斉講義形式、DVD鑑賞等、毎回手法を変えた内容で大好評でした。



写真1 第2回模擬試験の問題を解く

○血液の流れについて詳しく説明
今回は参加者が一番多く、グループワークが盛り上がりました！
充実した勉強会となり教材研究の成果を実感したようです！

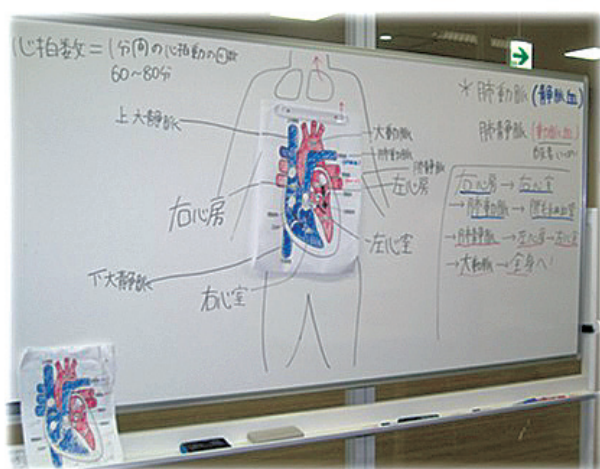


写真2 第3回目循環器の説明



写真3 血液の説明に使われたぬいぐるみ 左から順に赤血球、ピロリ菌、大腸菌、循環器



写真4 脳・付属器・脊髄について、骨格模型のヘルシー君を用いて説明



写真6「診療情報管理士認定試験合格者」学長への報告会



写真5 大活躍の助手ヘルシー君！

2015年度後期 数理学習センタープロジェクト発表会

去る1月29日(金)に数理学習センタープロジェクト発表会に、SAKURAUM(6階)スカイホールBで開催しました。学期末のお忙しい中、ご参加いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

今回は前期に引き続き、ポスターの説明とプレゼンテーションを併せた発表となりました。

ポスターの説明では、LLCと合同で実施されたチューターの事前研修会や日頃のチューター育成の様子、MSLC利用状況の前年度比較や学群・学部別利用状況、連携授業における課題提出率等がグラフで分かりやすく紹介され、担当チューターが個々の参加者の質問に答えていました。

プレゼンテーションでは、最初にリーダーから「MSLC 全体の後学期の活動報告」が行われ、組織活動の進捗状況を可視化する工夫等が紹介されました。続いて「MSLC 運営」の報告では、利用者統計、広報活動、チューター育成の順に行われ、「連携授業」では、数学・統計学・簿記・コンピューター概論・診療情報科目について、方法・内容・結果・まとめの順に説明があり、今期の成果と課題等が報告されました。MSLCプロジェクトとしてチューターが企画して行っている「チューター講座」では、今回「GIS 体験講座」「比地大滝トレッキングツアー」で外部講師をお招きし開催されました。初めての取組「GIS 体験講座」は3回開講され、興味・関心を寄せる学生の満足度が高く、「比地大滝トレッキングツアー」では、やんばるの自然について体験することができ良かったという報告がありました。どちらの講座もまた計画して欲しいという期待の声があったようです。

質疑応答では参加者から、前年度より MSLC の利用者が増えたことについて質問され、看護学科の統計学の連携授業及び多くの講座の実施で看護学科の利用者が増えたことが要因として考えられるという回答がありました。

閉会のあいさつでは、大城真理子副センター長より、17人という僅かな人数で切磋琢磨して本学の学習支援を担ってくれていることに対するお礼とともに、チューターには自信と誇りを持ってますます本学の学習支援に貢献して欲しいというエールが送られました。



写真 プレゼンテーションの様子

今回の発表では、ポスターの資料やプレゼンテーションのスライド作り等をチューターが各担当者間で連携して作成し、発表は主に新規チューターが担当するという事になったようです。これは、先輩チューターから後輩への業務の引継ぎを兼ねて計画的に行われているということでした。MSLCの運営や学習支援のノウハウが意図して伝えられていることを実感しました。さらに、ポスター等の豊富な資料から、チューターの自信と達成感とともに発表会への熱意が感じられました。MSLCの活動は、本学学生の支援を目的としながら、チューター自身の学びの場でもあり、この発表会はチューターの成長ぶりを感じさせてくれる内容となっていました。

◆ポスターセッションの様子



写真1 連携授業の活動を説明



写真2 利用者統計報告



写真3 発表の様子 ↑司会



写真4 発表会への参加者



写真5 発表に聞き入る参加者

◆発表のスライドより



図1 後学期活動報告の一部

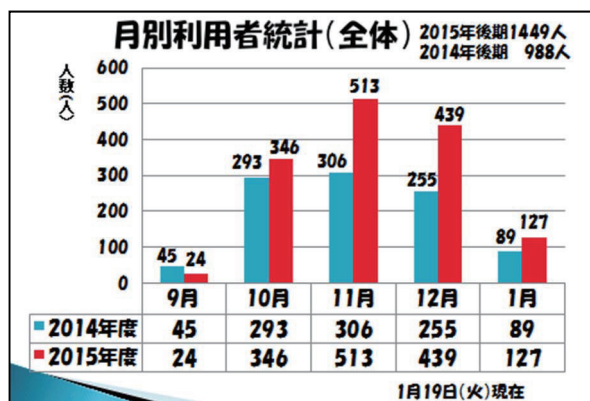


図2 後学期利用者統計前年度比較



《参加者からのコメント (一部)》

- 発表会に参加して、研修とかしているということを知り、感動しました。
- 発表を聞いて、トレーニング等、利用している側の知らない所で色々してくださっている事を知ることができ、良かったです。もっと利用していればよかったと後悔しています。
- 個人的に参考になる内容が多く、これから活かしていきたいと思いました。

2016年1月29日(金) 数理学習センター長

数理学習センターだより

NO. 2 2015.5.12
センター長 高安美智子



数理学習センター (MSLC) の案内 (Mathematical Science Learning Center)



公立大学法人
名桜大学
MEIO UNIVERSITY

【チューター対応時間】 **8時45分～17時45分**
(毎週水曜日5限は、MSLCミーティングのため休みです。)

★★★ 2015 年前期MSLCプロジェクトがスタート! ★★★

MSLC の活動には、チューターが企画する「MSLC プロジェクト」があります。
今年度の MSLC プロジェクト「数学・科学を身近に感じよう!」の第1弾は、5月2日(土)に「名護岳トレッキング」を実施しました。今週から「各種検定対策講座」も実施します。

★MSLCの有効活用を!

MALC では、数理系科目等の授業と連携して受講者の学習支援を行っています。課題の採点やチュータリング、パワーポイント教材の提供、試験対策講座等を行っています。
MSLC の有効活用で主体的に学士力の向上を実現しましょう!

★連携授業

「数学」「診療情報」「コンピュータ学論」の課題等の点検・チュータリングを行っています。「統計学」は今月中旬からスタートします。

★数学検定受験申込受付中!

申込期間: 4月27日(月)～6月5日(金)

試験日: 7月11日(土)

試験会場: SAKURAUM 4階 研修室

★各種講座スタート 受講者募集中

①「数学検定対策講座」

準1級: 毎週月曜日今週からスタート

2級・準2級: 毎週月曜日・金曜日

②「ITパスポート試験対策講座」

火の1、木の3、金の2にMSLCにて今週から行います。

★教育相談

1限目は、数理系科目の苦手克服のための教育相談及び学習支援を行います。

担当者 高安(リベラルアーツ専任教員)

★「名護岳トレッキング」は、借用バスの都合と時間不足のため山頂への登山はできませんでしたが、「沢登り体験」と「マングローブ観察」で、やんばるの自然を満喫できる有意義な体験ツアーとなりました。
イタジイ、イジュの花、日陰ヘゴ、サルノコシカケ、



写真1 参加者の集合写真

国際学群・スポーツ健康学科・看護学科
合計 22 名が参加しました。
(チューター・引率者も含む)



写真2 ヒカゲヘゴの説明を聞く



写真3 大浦のマングローブ林



写真4 ヒカゲヘゴ

2015 年度 L L C ・ M S L C 合同事前研修会を実施

2015（平成 27）年 9 月 26 日（土）に SAKURAUM 4F のアクティブラーニングスペースにおいて、後学期の活動開始を前に、LLC・MSLC 合同事前研修会が開催されました。MSLC では、毎学期事前研修会を二日間実施していますが、今回は初めての取組で一日目は LLC との合同研修会を実施しました。研修会は、チューター育成プログラムの一環として、チューターの資質・能力の向上を目的として実施されています。初心に戻って、ピアチューターとは何か、チュータリング・スタディスキル・カウンセリングの視点・リフェラルスキルなどについて、LLC チューターと協働で基礎から学び直し、新鮮な気持ちで有意義な研修会となりました。

◆LLC&MSLC 合同事前研修会（26 日）

①チューターの定義

ピアチューターとは

②模範的なチューターとは

ロールモデルについて

③チューターの実務

④チュータリングを上手く始める/終える・チュータリングでなすべきこと（すべきこと）、チュータリングでしてはいけないこと

⑤文書管理

⑥リフェラルスキル



LLC・MSLC スタッフ一同

2015 年後学期 MSLC プロジェクト「比地大滝トレッキングツアー」の報告

実施日：11月7日(土) 主催：数理学習センター 参加者：10人(引率者も含む)。

①環境省施設「やんばる野生生物保護センター（ウフギー自然館）」見学

国・県・村が世界自然遺産に推薦している国立公園の候補地「やんばるの森」の魅力をDVDによる説明とガイドの紹介で、聞いて・見て・触れて、体験することができました。館内では、やんばるの森で発見されたヤンバルクイナやケナガネズミ、イボイモリ、ナミガエル等の写真や剥製、鳴き声までも聞くことができる展示物の数々を鑑賞することができました。



写真1 ウフギー自然館内

②深い森に囲まれた清流「比地大滝」トレッキング

ガイドの説明を聞きながら遊歩道をテクテク歩き、やんばるならではの木々や草花を観察しました。アップダウンを繰り返す階段の上り下りは大変でしたが、大滝までの約40分は、あっという間でした。滝までたどり着くと写真撮影や観光客の子どもたちと、一緒にイモリで遊んだり楽しいひと時を過ごしました。生物の宝庫と言われるやんばるの森を堪能しました。



写真2 比地大滝に向かう遊歩道



写真3 比地大滝をバックにポーズ

③「ネクマチヂ岳展望台（イギミハキンゾー）」からの観察

大宜味村の「ネクマチヂ岳展望台（イギミハキンゾー）」は、何度来ても感動する場所です。周囲には登りたくなるような山々の連なり、見下ろす塩屋湾の美しい眺め、古宇利島、伊江島、伊是名島、伊平屋島の見渡す島々、トレッキングで疲れた体を癒してくれるオアシスでした。

学内行事と重なり、参加者が少なく残念でしたがやんばるの自然の素晴らしさを満喫しました。

<参加者の感想>

・沖縄に来て、本部より北に行ったことがなかったので、とても楽しかったです。念願の滝にも行けて大満足です。企画と運営お疲れ様でした。ありがとうございました。

・やんばるには、豊かな自然があるということまで見聞きしていましたが、どこに行けば実際に体験できるか知らず困っていた。先生に解説をしてもらいながら歩いて、動植物を近くで見ることができ、素晴らしい体験だった。次、自分たちで行っても楽しめそうだと思うようになった。

2016年度後学期 数理学習センター（MSLC）チューター事前研修会

2016年9月20日（火）・21日（水）に数理学習センターのチューター研修会が実施されました。

学生チューターとしてMSLCの目的「学生の数理能力の向上と自主学習促進」を達成するために、MSLCの活動内容を理解し、学習支援におけるスキルアップを図ることが研修の目的です。

一日目のセンター長講話では、まず数理学習センターが設置された経緯を説明しました。さらに、主体的な学びを促す授業外の学習環境づくりを推進するMSLCの活動が、最終的にはチューター自身の社会人基礎力の向上に繋がることを目標としていることなどを確認しました。その上で今回は、前期に調査したチューターの社会人基礎力の調査結果について、チューターの自己評価及び他者評価と事前事後の変化について概要説明を行いました。その結果を今後の活動計画に繋げていくために情報共有をし、その改善策を検討する予定です。

午後は、学生主体の学習センターとして先輩から後輩へMSLC運営のノウハウを継承するためチューターが企画・実践する「新規チューターオリエンテーション」が行われました。ここでは、チューターリーダー等の事前計画により、チューターの定義、責任と義務などについてマニュアルの読み合わせを行い、新規チューターとともにチューターの自覚を促す研修として進められました。

二日目は、運営の業務分担を行い、前期のプロジェクト発表会のスライドを使って、前期の活動を振り返り、後学期の活動計画について話し合いました。

さらに、一日目は数学、二日目は統計学の事前勉強会もあり、チューターリングロールプレイも行いました。

後学期は、新規チューター2人、継続チューター11人、計13人のチューターとセンター長、副センター長、MSLC係員が連携・協力してMSLCを運営していきます。

二日間の研修を手始めに、チューターの学力向上、チュータリングスキルの向上、コミュニケーション力の向上を目指した研修が毎週行われます。今学期も教員や他機関とも連携協力をしながら有意義な学習支援が実現できるようチームで協働することを誓い研修を終えました。

◆研修会 1 日目

- ①事前テスト（60分）
数学検定2級模擬試験
SPI 非言語分野模擬試験



- ②チューターレベルアップ
証明書授与式

- ③センター長講話

- ④チューターオリエンテーション
マニュアルを使って詳しく説明
・MSLCの概要説明
チューターとは、目的・心構え等
・業務内容説明（ロールプレイ）



- ⑤事前勉強会（数学）（60分）
チュータリングロールプレイ
・明日の確認

◆研修会 2 日目

- ⑥各担当の役割と分担
リーダー＆副リーダー
チューター育成
会計、施設衛生
利用者統計
広報、メディア



- ⑦プロジェクト発表会
を振り返って
課題の共有・改善



- ⑧連携授業について
各担当別に分かれて今期の活動計画
（数学・統計学・診療・情報）
・閉会式

◆第1回ミーティング

◆ チューターのレベルアップ証明書授与

MSLCチューターには、資格取得やチューターリング時間等により4段階のチューターレベルがあります。今回は、マスターチューター1名、アドバンスチューター1名、レギュラーチューター4名の6名に証明書が授与されました。特に今回は、初めてのMSLCマスターチューターが誕生しました。マスターチューターの資格条件は、「4期以上のチューター育成プログラムを受講、チューターリング時間が75時間以上、数学検定準一級一次以上の合格」の基準を満たした者で、勤務態度及びチューターの他者評価も含めてMSLC運営委員会において総合的に判断し活動実績が認められた者となっています。

~~~~~ 研修会を振り返って ~~~~~

### <新規チューターの感想>

①MSLCがどんなことをするのかわかりました。チューターとして必要なことや、数学の勉強会で先輩が前で教え方を披露し、それから学ぶというのもよかったです。先輩方は仲が良くいい雰囲気でした。二日目は、プロジェクト発表の一部を見せていただきました。MSLCの利用者数や各チューターの課題を見ることができて面白かったです。

②始めは緊張していたけど、優しい先輩方だったので後期からとても楽しみになりました。研修会のテストを受けて、解けない所が多かったのでしっかり復習しておかなければいけないと思いました。

まだまだわからないことが多いので、質問をして覚えていきたいです。



### <継続チューターの反省>

- ① 前期分のプロジェクト発表会の振り返りをする事でMSLCでの活動を大まかに新規チューターに説明できたことも良かった。
- ② 自分の担当について、前期の振り返りを振り返ることは大切だと実感したのでスケジュールの中に入っていて嬉しかった。
- ② 今回はMSLCの歴史を学ぶためのスライドがあったのが新鮮だった。数学や統計学の問題を解き、解説する時間もとれたので意味のある研修会になったと思う。
- ③ MSLCチューターの役割やMSLCの役目など改めて知ることが出来て良かった。数学や統計学のテストや学習をして、解けないところや忘れていたところもあったので、自己学習に努めなければいけないと思った。
- ⑤ 診療のリーダーをすることになって、しっかりやり遂げられるか不安もあるが、真理子先生と相談したり、先輩方と話し合ったりして頑張っていきたい。
- ⑥ 新規のチューターが2人入ってくれて、しっかりとした先輩らしい対応が出来るようにより一層努力したい。期末に、次の人たちに向けて纏めをしても良いのではないかなと思った。
- ⑦ 新しく担当が決まったので、後期もまたパワーアップした活動が出来ればと思った。自分の成長を意識して今期頑張っていきたい。



## ■数理学習センター(MSLC)とは？

(Mathematical Science Learning Center)

平成 21 年 5 月 8 日に、学生の数理能力の向上と自主学習の促進を目的として、創設された名桜大学の学習支援機関です。専属の学生チューターが常駐し、連携授業の課題点検や学生の疑問・質問などに対応する個別の学習支援(チュータリング)を行っています。



## ■MSLCチューターとは

MSLC チューターとは、MSLC が定めたチューターの選考基準をクリアし、学生の学習支援を行う学生です。チューターは、採用後は必要なスキルを身に付けるための研修を受けて、チューターとしての専門性を身に付けていきます。



公立大学法人 名桜大学 数理学習センター  
〒905-8585 沖縄県名護市為又 1220-1  
TEL: 0980-51-1125

## ■センター長から

数理学習センターでは、授業の課題や自主学習等の学習支援を行っています。苦手分野は誰にでもあるものです。数理学習センターでは、チューターが丁寧に対応し、共に学び合う学習支援を行います。数理系が苦手な学生は、チューターと一緒に勉強しませんか？ チューターは一緒に学び合い、苦手克服ができるようサポートしてくれます。分かった！できた！を実感させてくれる学習センターです。

一緒に勉強したい皆さんを歓迎します。

数理学習センター長 高安美智子

## ■広報活動

月刊 MSLC や数理学習センターだよりを発行しています。センターでの活動報告やチューター講座の案内、やんばる自然体験ツアーなどの楽しいイベント案内等を掲載しています。



# 数理学習センター

Mathematical Science Learning Center

【場 所】学生会館 SAKURAUM 4 階  
【開館時間】月～金 8:45 ～ 18:00  
【TR 受付】月～金 8:45 ～ 17:30  
【休 館 日】土日・祝祭日  
大学の定める定休日  
定例 MT 時(学期によって変更)



## 連携授業

### 数学

数学中間試験対策講座



SPI 対策講座



### 統計学

Excel 講座



統計学講座



### 情報処理

コンピュータ概論  
情報処理論



### 診療情報

臨床医学名論 I～IV  
診療情報管理士勉強会



## チューター講座

【数学・科学を身近に感じよう！】

講義の枠を飛び越えて、数学の魅力、やんばるの自然について体験することができます。

比地大海へツッキング



大浦湾のマングローブ林



天体観測



数楽サロン



「数の不思議」  
算数の奥 割合と百分比  
「自然数に集められた数の不思議」



【数学校定対策講座】



【IT スクール】



NSLC で待ってます！

## MSLC 運営

### 広報

月刊 MSLC 作成  
ポスター・広告作成  
活動記録

### 利用者統計

利用者データ集計  
TR 累計集計

### 施設衛生

施設の物品管理  
書籍登録・管理

### メディア

PC 管理  
HP 管理

## チューター育成

【チュータートレーニング研修】

チューターの専門的スキルの向上を図るため、定期的に研修を行っています。



チューターングローバルプレイ

「模範的なチューターとは」

【プロジェクト発表会】

1 学期間の活動内容の報告会を行っています。



ポスター発表

プレゼンテーション

## 2017年度前期 チューター育成プログラム

1. MSLC研修会
2. 合同研修会
3. TRロールプレイ
4. チュータートレーニングプログラム
5. チューター講座の企画・運営
6. センター長面談(3回)
7. 評価

### 2. 合同研修会

➤ 日程 平成29年4月5日 9:00～12:00

➤ 内容 3センター活動報告発表  
グループディスカッション

- ①新規への引き継ぎ
- ②work shopの参加者集め
- ③利用者を増やすには
- ④広報活動
- ⑤全学年への対応
- ⑥利用者のニーズ



### 3. TRロールプレイ

➤ 方法

TR担当者は事前に高安先生からTR方法を学ぶ

定例ミーティング時にチューターの前でTRを行う

TRを行ったチューターに対しての  
評価・フィードバックを行う

### 考察(TRロールプレイ)

#### 【課題】

- TRを受けている側の聞き方  
→自分の身になるような聞き方をする
- 扱う問題が各科目の課題に偏っていた  
→SPI問題など課題以外の問題への対応  
チューター個人のスキルアップ

#### 第1回

### TRすべきこと・してはいけないこと

担当：荒川珠梨・新城公平・渡久地春奈

- ◆学習支援＝学生が学生を支援する営み
- ◆チューターの基本姿勢は責任感と積極性
- ◆TRでは、一緒に考えながら答えを導く



#### チュータリング(=TR)とは？

1. 学習支援  
(質問への回答、解答の解説、学習面での相談)
2. 答えを教えるのではなく、  
一緒に考えながら導いていくこと

### 1. MSLCチューター研修会

➤ 日程 平成29年3月30日(木)・31日(金)  
9:00～16:00

➤ 内容

- 〈1日目〉・チューターテスト  
・業務内容説明  
・事前勉強会(数学)
- 〈2日目〉・各担当決め  
・半期打ち合わせ  
・事前勉強会  
(統計学基礎・統計学)



### 3. TRロールプレイ

➤ 目的 TRスキルの向上  
継続的なトレーニング

➤ 日程 毎週金曜日5限目  
(定例MT時)

➤ 内容 数学課題  
統計学課題  
統計学基礎課題  
SPI問題



### 考察(TRロールプレイ)

#### 【成果】

- TR力の向上  
➤ 基礎的な内容からチュータリングを行なった  
学習習慣の確立
- 幅広い課題を扱うことが出来た  
・ Excelを使った課題  
・ 数学、統計学基礎、統計学の課題

### 4. チュータートレーニング プログラム

- 第1回 TRすべきこと・してはいけないこと
- 第2回 視察対応の仕方
- 第3回 模範的なチューター ロールモデルとは
- 第4回 リフェラルスキル 緊急時の対応
- 第5回 利用者統計
- 第6回 数理学習センターのあゆみ
- 第7回 コミュニケーションスキル
- 第8回 スタディースキル
- 第9回 ストレスマネジメント

#### 第2回

### 視察対応の仕方

担当：安田美里・屋部藍華

- ◆明るく元気な挨拶をする
- ◆見学に来たら、紙媒体で記録し、SNSで報告
- ◆MSLCの目的と内容を伝える



#### 対応の際、心がけること

- ・正しい敬語の使い方
- ・3S  
Smile: ほほえみ  
Speed: 迅速に  
Sincerity: 誠意
- ・言葉と表情をもって



### 第3回 模範的なチューター ロールモデルとは

担当：勝田崇仁・鶴尾春香

- ◆チューターとして責任感を持つ
- ◆他人から見て素晴らしいと感じられるロールモデルに!!



### 第4回 リフェラルスキル 緊急時の対応

担当：川島さやか・玉城遼

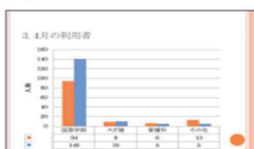
- ◆緊急事態では仲間に相談して、個人で解決しないようにする
- ◆日頃からリフェラルスキルを意識する



### 第5回 利用者統計

担当：荒川珠梨・大草みゆき

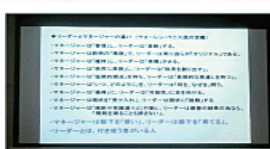
- ◆利用者統計では、利用者が何の目的でどのくらい来てるのかを把握する
- ◆入退室管理システムの導入によりデータのとり方や集計方法が変わった



### 第6回 数理学習センターのあゆみ

担当：高安美智子先生

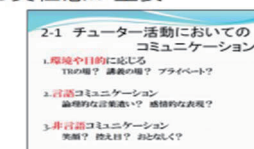
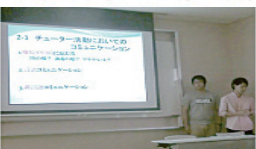
- ◆数理学習センターは2009年に設立された
- ◆マネージャーは部下を「使い」、リーダーは部下を「育てる」
- ◆組織の力は人で決まる



### 第7回 コミュニケーションスキル

担当：新城公平・平川拓磨

- ◆コミュニケーション＝様々な情報を色々な手段で伝え合うこと
- ◆「ほたき」のスキル：褒め・例え・共通
- ◆組織内のコミュニケーションを円滑に行うには、自分自身の立場の自覚と責任感が重要



### 第8回 スタディースキル

担当：河野奈津美・中村麻圭

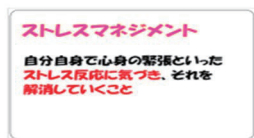
- ◆スタディースキル＝学習の技術
- ◆タイムマネジメントと積極性
- ◆クローズドクエスチョン



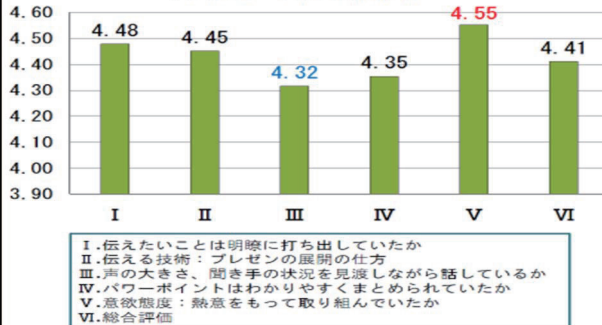
### 第9回 ストレスマネジメント

担当：渡久地春奈・平野菜津弥

- ◆ストレス＝心と身体に受けるあらゆる刺激
- ◆適度なストレスはあった方がよい
- ◆ストレスコーピングは、バリエーションを増やすほうが効果的



プレゼンテーションの相互評価



### 考察

(チュータートレーニングプログラム)

#### 【成果】

- 前学期の内容をバージョンアップして取り組むことができた
- 2人1組でプレゼンを行った
  - 担当間で話し合い、協力してスライドを作成していた
  - チームで動くという意識の確立

### 考察

(チュータートレーニングプログラム)

#### 【課題】

- 他者評価の方法
- 発表者が伝えたかったことと聞き手の受け取り方の違い
  - 発表者のプレゼン方法、PPT作成の工夫
  - 聞き手が受け身になっていた

## 2017 年度より MSLC で統計検定を実施

HOME ▶ ニュース一覧 ▶ 統計検定2級および3級に5人が合格！

### 統計検定2級および3級に5人が合格！

2017 年 11 月 26（日）に実施された統計検定において、本学学生がそれぞれ 2 級（1 人）、3 級（4 人）に合格しました。現代の情報化社会に於いて、統計スキルは、医療、スポーツ、教育など多様な分野で必要とされ、最強の武器と言われています。今後は益々どの分野でも求められ、統計の知識を持つ社員を優遇するという企業もあります。

当検定に合格した安田美里さん、大城怜菜さん、宮川寛太郎さんの 3 人が、平成 30 年 1 月 16 日（火）に、高安美智子数理学習センター長、田場尚平さん（数理学習センター 係員）とともに、山里勝己学長、鈴木啓子副学長を訪れ、それぞれ統計検定に合格したことを報告しました。

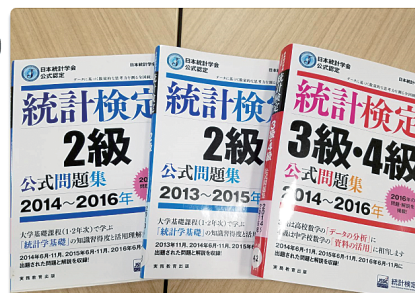
山里学長は「人に教える・リードできる力は多くの企業で求められており、就職活動ではチューターとしての経験が大きな力になると思います。また、統計検定は、色々な形で活用できる資格だと思いますので、今後はさらに力をつけ、上を目指せるよう頑張ってください」と激励しました。



（合格証書を手に 2018 年 1 月 30 日学長室にて）

### 統計検定対策講座

- ▶ 受講者数：3 級 6 名、2 級 1 名
- ▶ 講座期間：10月5日(木)～11月24日(金)
- ▶ 過去問題集、類似問題プリントなどを使用
- ▶ 受験生全員が参加  
3 級 2012 年～2017 年 6 月過去問等  
2 級 2013 年～2017 年 6 月過去問等





## 2018 年度 名桜大学地域連携事業『中学生の夏休み課題の学習支援』

本学は、名護市大西区と連携に関する協定を結び、子育て支援や学習支援に継続して協力しています。

大西区は平成 25 年度より「名護市ちばる地域提案事業助成」を受けて『にしこうカラハイ子育て支援事業』に取り組んでいます。「にしこう」は大西区公民館の通称で、「カラハイ」は羅針盤を意味しているようです。

これまでは、こどもの居場所づくりを目的として学習後にゲームやスポーツをしたり、夏祭りなどのイベントを開催したりしていました。今年度は、「名護中学校と連携して夏休みの中学生の学習支援に取り組む」という大西区の事業を、名桜大学数理学習センターのチューターが協力して取り組むことになりました。これは、中学生の学習支援が必要ではないかというチューターの要望に応じて、大西区学習支援部が企画してくださいました。

チューターは、夏休みの数学と英語の課題を事前にもらい解答の準備をして臨みました。また、チューターが数学の確認テスト（夏休みの宿題の中から 10 題出題）を作成・実施し、理解が不十分な生徒に個別指導を行いました。また、確認テストが終わった生徒は、それぞれの課題や宿題を進め、他の課題や宿題についてもチュータリングを実施しました。3 年生は数学の応用問題について演習形式を 60 分間実施し、ここでも支援が必要な生徒を中心に個別指導を行いました。内容は以下の通りでした。

受講生やチューターの感想から、双方にとって有意義な勉強会であったことが分かりました。継続して勉強会を実施したいというチューターの要望もあり、今後検討していく予定です。

- 期 間：平成 30 年 8 月 9 日（木）、10 日（金）、13 日（月）、14 日（火）、15 日（水）  
時 間：9・10 日：11～12 時、12 時～13 時（1 時間単位で 2 コマ実施）  
13～15 日：8～9 時、9～10 時（1 時間単位で 2 コマ実施）  
場 所：名護中学校 家庭科教室、数学教室、英語教室、その他の教室（日によって異なる）  
内 容：部活単位で夏休みの宿題の学習支援を行う。  
結 果：5 日間で参加した生徒数は延べ 176 名、延べチューター人数 18 名  
参加した部：男子バレー部、ソフトテニス部（男子）、吹奏楽部（女子）、美術部（女子）



写真 1：趣旨説明とチューター紹介



写真 2：数学確認テスト実施中



写真 3：学習支援の様子

### <事後アンケートの結果>（データ提供は大西区の学習支援部担当者）

質問：大学生が学習をサポートすることについてどう思ったか。

回答：自分の役に立った（85.4%）、サポートは受けなかった（11.0%）、その他（3.7%）

「自分の役に立った」の理由は、問題のまちがっているところと一緒に見直して自分がどこでミスをしているのかわかった。その問題の一つ下の問題を例題にしてヒントの与え方が上手だと思った。教えてもらった方が自分ではわからない所もわかるから。優しく接してくれ、個別の指導がよかった。楽しく問題が解けた。細かい所まで教えてくれた。分からないところをしっかりとやり方まで教えてくれた。難しい問題もわかりやすく教えてくれて、とてもわかりやすかった。わかりやすく教えてくれて楽しかった。忘れていたこと（数学の問題）が思い出せた。分からないところが分かるようになって学習能力が向上すると思った。自分が理解していない問題や弱点が見えた。簡単な求め方を知ることができた。割合のやり方がわかった。

「サポートを受けなかった」理由は、自分でできる問題だったからがほとんどであった。

「その他」は、遅れての参加のためよく分からなかった。



## ◆ 2018 年度後期 チュータートレーニング

### <プレゼンテーションによる研修>

| 2018年後期チュータートレーニング |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
|                    | トレーニング内容                              |
| 第1回                | 評価について(大草・宮川)                         |
| 第2回                | スライド作成及びプレゼン技法について(平野・馬場)             |
| 第3回                | コミュニケーションスキル・アサーティブネス(内田・夏目)          |
| 第4回                | スタディスキル(平川・具志堅)                       |
| 第5回                | グループディスカッション①<br>(TRロールプレイの形態・理念について) |
| 第6回                | カウンセリング研修(前川先生)                       |
| 第7回                | 5年間のMSLC利用者比較(本村・島袋)                  |
| 第8回                | ファシリテーションスキル・リーダーシップ(伊藤・比嘉)           |
| 第9回                | グループディスカッション② (Googleアンケートについて)       |
| 第10回               | 社会人基礎力について(高安センター長)                   |

### <チュータリングロールプレイ>



### 第3回 コミュニケーションスキルとアサーティブネス

□ コミュニケーションスキル

- ・最も重要なことは安心感を与えること
- ・そのために何が必要なのかを知る

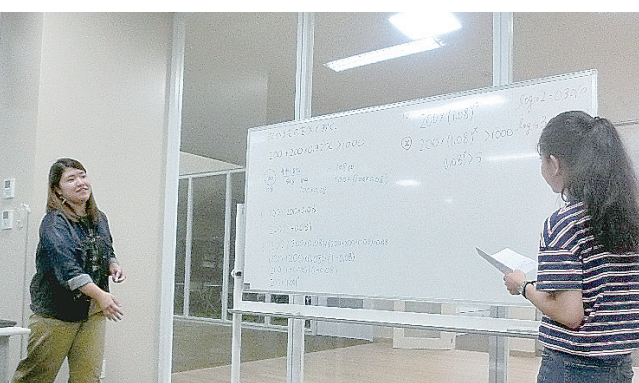


### 評価について Valuation

なぜ **評価** するの?

<自己評価のねらい>  
自分にどのような強みや弱みがあるのかなど  
**現在の状況を把握**し、**改善に生かす**ことで  
成長につなげるため!

大草みゆき・宮川寛太郎



来年で!

### MSLC創設 10周年!!

H25年(前期)~H30年(前期)の  
利用者の動向を見てみましょう!

本村くるみ・島袋 愛子





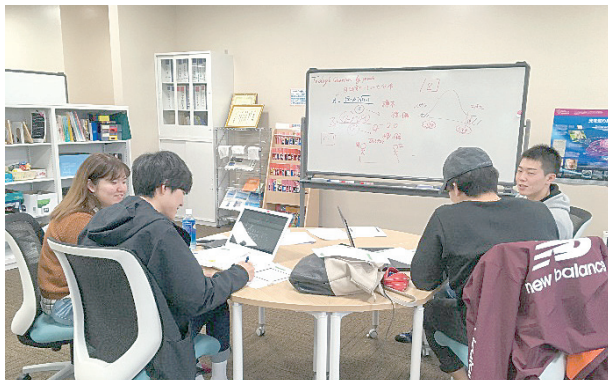
◆ 2018 年度チューター講座（後期）

<2018 年後期 チューター講座>

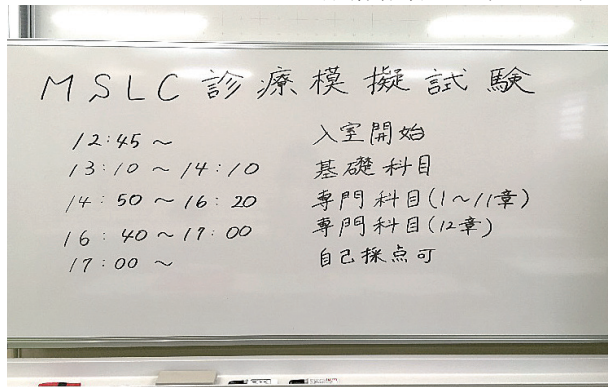
- ・ 小学校教員採用試験対策講座
- ・ ITパスポート試験対策講座
- ・ 統計学自習課題対策講座
- ・ 統計検定対策講座
- ・ 統計学中間試験対策講座（11/9~）
- ・ 数学中間試験対策講座（11/21~）
- ・ 看護に必要な計算トレーニング（11/28~）
- ・ 数学検定対策講座②（12/17~）
- ・ 卒論のための統計【スポ健】（12/19~）
- ・ 統計学授業内容補完講座（1/9~）
- ・ 卒論のための統計【看護】（1/11~）
- ・ 統計学発展課題対策講座（1/16~）
- ・ MSLC診療模擬試験（1/17）
- ・ 統計学期末試験対策講座（1/25~）



<卒論のための統計講座 国際学群対象>



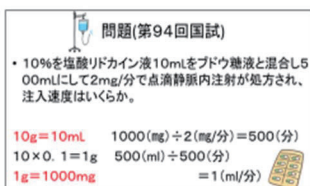
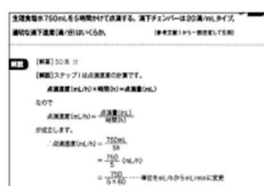
<診療情報管理士認定試験対策講座 MSLC 診療模擬試験>



<看護のための計算トレーニング講座>

平成30年度 後期

看護に必要な計算トレーニング



伊藤幸、島袋愛子、具志堅沙梨奈、比嘉双葉

<卒論のための統計講座 看護学科対象>

卒論のための統計

【看護】

受講者の感想

今習っていること  
であるが難しい。

説明が不十分  
である。

帰無仮説や  
対立仮説な  
どの言葉が  
難しい。



宮川寛太郎 伊藤幸 具志堅沙梨奈 島袋愛子 比嘉双葉

<統計学エクセル講座>



<自主的勉強会&小学校教員採用試験対策講座>

自主的・主体的な活動

活動風景



小学校教員試験対策講座



安田美里



## 2018（平成 30）年度「入学前特別講座（数学）」

名桜大学リベラルアーツ機構では、国際学群の自己推薦・推薦入試及び人間健康学部の推薦入試合格者の希望者を対象に、2月12日（火）から2月15日（金）の4日間の日程で、名桜大学 SAKURAUM 3階大講義室 A,B において「入学前特別講座（数学）」を実施しました。自ら課題文を読み、躓いた時にはグループで対話を通して高校数学の復習を行い、数学基礎力の向上に努めるとともに入学後の主体的な学びに繋げることを目的として実施しました。

初日は名桜ウェルナビの皆さんの応援で、SAKURAUM 6階スカイホール A においてアイスブレイキングを行い和やかな雰囲気が始まりました。続いて基礎力診断テストを実施し受講生の習熟度を把握しました。二日目以降は、4～5名の高校生の中に数理学習センターチューターが加わり和気藹々とした雰囲気でグループ学習・学習支援を行い、4日間の講座を無事終了することができました。参加者は85名で遠くは沖永良部高校、八重山高校、久米島高校からの参加もありました。1日だけの参加でも良いという希望講座でしたが最終日も35名の生徒が受講しました。

受講生のコメントより、「4日間で自力では解けなかった問題が解けるようになり、4月から一緒に勉強する友達とのコミュニケーションを通して、沢山のことが得られたので良かった。大学入学後も初心を忘れずに夢を叶えられるよう頑張りたい。先輩方から大学生活の話を聞きながら勉強した。大学でどのようにしてやっていくか知ることができたので、大学生活が楽しみです。基礎問題は解けると思っていたが、だんだん難易度が上がってきているので何とかついて行けるように頑張りたい。勉強と思うとテンパってしまったけど、先輩方や同級生が優しく教えてくれたので良かった。苦手な数学の問題も友達に聞いて分かるようになってとても良かった。今回の講座に参加して良かった。」等の感想がありました。チューターの振り返りからは、「対話を通して与えられた問題をどのように解くのか、その考えを相手に自主的に見つけてもらえたのが、この活動の中で、何よりもやりがいを感じた。講座に参加できて本当に良かった。」という感想がありました。

本講座を実施して反省点も多々ありますが、次に繋がる課題も見つかりました。数理学習センター長として、本学のカリキュラムポリシーを達成するための第一歩を踏み出すことができたという達成感を感じて講座を終了することができました。一緒に頑張ってくれたチューターからの意見も参考に次年度の計画に活かしていきたいと思います。



写真1 講座の趣旨説明の様子



写真2 アイスブレイキングの様子



写真3 Aクラスのグループワークの風景





# 月刊 MSLC 5月号



\* 2019 年（前期）MSLCチューターの紹介

- ・リーダー：納沢 汐梨、
- ・副リーダー：馬場 星 比嘉 双葉



個性豊かな MSLC のチューターをまとめ上げ、MSLC を導くリーダー達です。とても向上心が高く、信頼できるチューターです！勉強で困ったことも、学生生活での悩み事もリーダー達にお任せあれ！きっと最高の答えを導き出してくれます。

## ◆統計学担当：

島袋愛子 比嘉双葉 具志堅沙梨奈 亀井 謙二郎

統計学は社会に出ると必ず必要になってくるスキルですが、数字の多さや複雑な公式に困ってしまう学生も多いと思います。そんな時こそ MSLC へ！



## ◆診療担当：納沢汐梨 杜銀偉



診療情報管理士認定試験に向けた試験対策を行っていきます。困ったことがあれば、気軽に質問しに来てください！診療担当チューターが勉強にも、勉強以外に関してもたくさんサポートしてくれます！

## ◆自然科学特別講義「統計学基礎」担当：

夏目晃汰 納沢汐梨 安田美里 田中里奈



理数科目に苦手意識がある学生は統計学基礎担当チューターに相談してみよう！学生それぞれに合った考え方・勉強法を親身になって考えてくれます。MSLC で理数科目を得意にいきましょう！

## ◆数学担当：馬場星 安田美里 杜銀偉



数学が苦手な学生にも楽しく、分かりやすいチュータリングを行ってくれます。数学担当チューターは全ての学生に数学の魅力を伝えられるよう、日々努力をしています！

## ◆情報担当：宮川寛太郎 夏目晃汰 西晃人



情報系科目の連携をどんどん増やしています。より多様な質問に応えられるよう、チューター自身の勉強も怠りません！また、学生の理解が深まるよう、口頭で解説するだけでなく、PC を利用した実践的な解説を行ってくれます。

※チューター紹介は、MSLC 広報担当の夏目晃汰さんが書いてくれました。

# 数理学習センターだより

第1号 2019年5月7日

数理学習センター

センター長 高安美智子



公立大学法人  
**名桜大学**  
MEIO UNIVERSITY

## 数理学習センター (MSLC) の案内

場所：SAKURAUM 4階 MSLC

(Mathematical Science Learning Center) 利用時間：平日 8:45~18:00



1. MSLC は、優しさ・笑顔・努力を大事にする学びの空間です。
2. MSLC は、学生の数理能力の向上と自主学習の促進を目的とした学習支援機関です。
3. MSLC ピア・チューターは、寄り添う学習支援を心がけ、向上心を持ち、自己実現を目指します。

◆新入生の80名以上が、去る2月12日~15日に実施された入学前特別講座(数学)に参加しMSLCチューターと勉強会をしました。数学が苦手な人は、今後も積極的にMSLCを活用してください。また、数学が得意な人は、数学検定を受けてみませんか。そしてMSLCのチューターになって新しい目標を見つけ、大学生活に挑戦しませんか？

MSLCでは毎学期、実用数学技能検定を実施しています。2018年2月12日に実施した第334回数学技能検定試験では、国際学群4年次(情報専攻)の安田美里さんが数学検定準1級1次計算技能検定に合格しました。また、実用数学技能検定を継続して活用し効果的な学習成果を挙げた実績が認められ、2019年2月27日、MSLCは日本数学検定協会から「実用数学技能検定グランプリ奨励賞」を受賞しました。数学が得意な人、またはこれから頑張りたいと思っている人、実用数学技能検定を受験しませんか？なお、数学検定2級の合格者は申請すると自然科学の教養科目「数学」2単位が修得できます。↓安田さんの賞状 グランプリ奨励賞→



## 第340回数学技能検定試験案内

実施級：準2級~準1級

実施日：7月20日(土)

場所：SAKURAUM 4階研修室A

申込：4月23日(火)~5月24日(金)



<数学検定対策講座>

日時：4月23日~7月19日(金)

場所：MSLC (SAKURAUM 4階)

時間：2級1次はいつでも対応します。2級2次と準1級対策は事前に予約をしたら希望の時間に対応します。





# 実用数学技能検定グランプリ奨励賞受賞

平成 31 年 2 月 27 日、本学数理学習センターが、公益財団法人日本数学検定協会より実用数学技能検定グランプリ奨励賞を授与されました。また、同センターのチューター学生が実用数学技能検定、統計検定に合格しました。

令和元年 5 月 17 日(金)、学生課会議室にて実用数学技能検定グランプリ奨励賞受賞及び実用数学技能検定、統計検定合格の報告会が行われ、高安美智子数理学習センター長をはじめ、検定試験に合格した納沢汐梨さん(診療情報管理専攻 3 年次、鹿児島県立徳之島高校出身)、比嘉双葉さん(看護学科 2 年次、沖縄県立球陽高校出身)、島袋愛子さん(看護学科 2 年次、沖縄県立球陽高校出身)、亀井謙二郎さん(国際学群 2 年次)が池原秀人学生部長に報告を行いました。

実用数学技能検定グランプリ奨励賞は、積極的に算数・数学の学習に取り組んでいる団体・個人の努力を称え、さらに今後の指導・学習の励みとする目的で、特に成績優秀な団体及び個人を表彰する制度です。本学数理学習センターの受賞は 2 回目となります。また、本学数理学習センターチューターから平成 30 年度の実用数学技能検定準 1 級(1 次)に 1 人、2 級に 4 人、2 級(1 次)に 2 人、統計検定 2 級に 1 人、3 級に 2 人が合格しました。

統計検定 2 級に合格した亀井謙二郎さんは、「今回合格できたのは、高安先生の講座でのサポートがあったからだと思います。これからは、さらに上を目指し勉強し、実務を深めていきたい」と抱負を述べました。池原学生部長は、「受賞及び合格おめでとうございます。数理学習センターのチューターは学内で数理を支援する貴重な存在です、今後は、奨学金等も含めて支援を広げていきたい」と激励しました。

## 実用数学技能検定及び統計検定に合格



(賞状、合格証書を手に 2019 年 6 月 3 日撮影)

### MSLC における検定合格者数

#### ◆数学検定合格者数

(2010 年～2018 年)

|               |      |
|---------------|------|
| 準 1 級 1 次計算技能 | 3 名  |
| 2 級           | 30 名 |
| 準 2 級         | 10 名 |
| 3 級           | 3 名  |

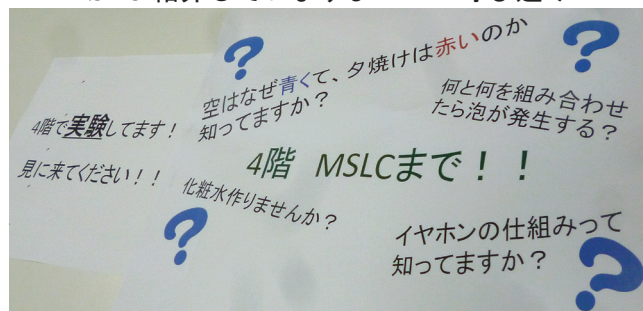
#### ◆統計検定合格者数

(2017 年・2018 年)

|     |      |
|-----|------|
| 2 級 | 2 名  |
| 3 級 | 11 名 |

## ◆2019 年度第 1 回オープンキャンパス MSLC 紹介

### ★ MSLC 紹介していますよ～ 呼び込み



### チューターによる MSLC の紹介



#### 1. 化粧水を作ってみよう!



～～～自分の化粧水を作ってみませんか?～～～  
肌の保湿のために高い化粧水を使っていませんか? 実は自分に合った化粧水を水とグリセリンで安価に手軽に作る事が出来るんです!

実際に化粧水を作ってもらい、オリジナル化粧水をプレゼントしました!

#### 2. ひんやり化学反応



キッチンによくある、クエン酸・重曹で手軽に面白い科学実験ができるのはご存知ですか?

クエン酸・重曹を混ぜて水をかけるだけで沖縄の夏にピッタリ、ひんやり化学反応が!

化学反応の理由とともに、その冷たさを体感していただきました!

#### 3. スピーカーやイヤホンの構造



スピーカーやイヤホンがどのように電気信号を音に変換しているか知っていますか?

その正体は小学生で習うコイル!

実際にイヤホンを解体して詳しく構造について学びました!

#### 4. 夕焼けの正体



普段は青い空が夕暮れ時になるとオレンジ色に!

この理由、知っていますか?

実は光の波長と雲の有無が鍵!

実際に晴れた空から曇りの空のモデルを作り、目の前で夕焼けを再現しました!



## MSLC チューター（卒業生）の思い出の写真&近況報告

### 2009 年度前期チューターの集合写真



2012 年ミーティングの様子





2015 年卒業生



川淵晃明



瀬川千鶴



川崎昌太



池田公美



2016 年度卒業生



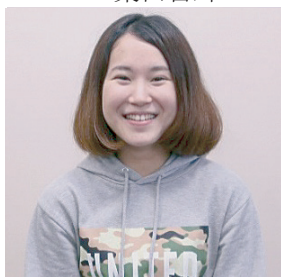
柴田吉輝



上間健之祐



大鶴篤樹



津嘉山尚子



崎原邦達



座間味良斉



濱崎あずさ



## 2017 年度卒業生

新城公平 国際学群 診療情報管理専攻 (2014 年度後期～2017 年後期 7 期間)

1 年生の後期から 4 年生の後期まで、気が付けば 7 期間もチューター活動をしていました。1 期目は、課題のチュータリングに始まり北部地域の高校生へ数学を教えに行きました。チューターを始めたばかりで、慣れないこともたくさんあったけどこの経験が人に教えることの楽しさや難しさを知ることになりました。2 期目からは、学生会館「SAKURAUUM」が完成し、学習センターの活動がより本格的になりました。数学・統計学・情報科目・診療情報科目の班に分かれ、課題の作成、チュータリングと、日々学ぶことが多くありました。また、チューター育成も先輩チューターが中心となり、先生と協力しながら行い、テーマを決めてプレゼンテーションをする、チュータリングのロールプレイを行いお互いに評価するといったチュータートレーニングから、センター運営もチューターが中心となり行っていました。

私は、診療情報科目を中心に活動をしていました。4 年次には診療情報管理士の資格に合格し、資格試験の模擬試験を作成・実施しました。診療情報科目の学習支援の流れをつくれたことが、私のチューター活動の一番の成果だと思っています。

学生生活の中で、講義から学ぶことだけでなくチューター活動を通して学び得られたことはたくさんありました。人に伝える・教えるということの難しさと楽しさ、プロジェクトを企画・実行する難しさと楽しさを実感しました。また、様々な人たちと関わることで成長できたことが、チューターをして一番良かったことでした。今後も、教職員と学生チューターが協力してより良い数理学習センターを作り上げていくことに期待しています。

現在、大学医学部附属病院医療支援課に就職・配属となり 2 年目となりました。そこで私は、診療報酬の請求業務を行っています。業務にも少しずつ慣れましたが、まだまだ分からないことばかりなため勉強の日々です。



卒業の日に 4 年間の仲間との記念写真：新城公平、高安、渡久地春菜、荒川朱莉、山下真衣

荒川朱莉 国際学群 診療情報管理専攻  
(2014 年度後期～2017 年後期 7 期間)

MSLC10 周年おめでとうございます！

私は MSLC での経験を糧に、ニアシア案件に携わって SE として絶賛成長中です。

東京の方と一緒にお仕事しています。色々辛いこともありましたが、今は良くなりました(笑)。

互いに精進していきましょう。

渡久地春菜 国際学群 経営専攻  
(2014 年度後期～2017 年後期 7 期間)

MSLC では、チュータリングをしたり、自ら講座を企画したり様々な活動をしてきました。

MSLC で培った力を活かして現在は JICA 海外協力隊としてトンガに算数を教えに行っています。



## 2017 年度卒業生

太田 樹理 国際学群 診療情報管理専攻  
(2015 年度後期～2016 年前期 2 期間)

元々数学がとても苦手で（今も変わらずですが）、毎日が勉強、反省、勉強、の繰り返しでした。周りのチューター、そして高安先生の温かく、力強いサポートのおかげで、自分の役割を全うし、楽しく過ごすことができました。短い期間ではありましたが、MSLC で得た経験を活かして、現在は県内の病院にて診療情報管理士として働いております。カルテ等の患者様の大切な個人情報を扱う業務を行っているため、常に緊張感を持ちつつ、日々勉強の毎日を過ごしております。



佐藤孝亮



葉上里恵



小池美里



鳥越由美子



安部友宏



比嘉 康貴



## 2018 年度卒業生



塩崎里沙子



勝田崇仁



平川琢磨



宮田真理子



## 2018 年度卒業生

診療情報管理専攻 本村くるみ(2016 年度前期～2018 年後期 6 期間)

数理学習センターでは、2 期にわたってリーダーをさせていただきました。他者に物事をわかりやすく伝えること、メンバー全員の意見をよく聞くこと、先をみて行動すること、優先順位を考えて行動することなど、リーダーをさせていただいたことによってチームで動くことの大変さ、チームで動いたからこそ感じることでできる達成感を改めて知ることができました。また、チューター全員の現状を踏まえたチューター育成プログラムを実施し、その中で他のメンバーのプレゼンテーションや学習支援に対する評価の方法を改善することができた点が、いちばんの成果だと思っています。この貴重な経験は、自分自身を大きく成長させることにつながったと感じます。

6 期間、チューターとして活動させていただき、様々な経験をすることができました。得るものも学ぶことも多い、充実した大学生活となりました。今後も、数理学習センターでの活動を生かして、学び続ける姿勢を忘れず自分にできることをしていきたいと思っています。

数理学習センターが 10 周年を迎えられたことを嬉しく思います。チューターの皆さんと先生方、スタッフが協力して、より良い学習支援センターに発展していくことを願っています。

私は、故郷である鹿児島県の医療に貢献したいという思いの元、病院で事務職として働いています。毎日、新しいことを学び、復習し、課題や改善点を見つけ、次の業務に活かすということの繰り返しです。まだまだできることは少ないですが、私にできるたった少しの業務に対し、何ができて何ができていなくて、これからどうすればよいのか等考える習慣がついた点が、MSLC での活動がとても生かされているところだと感じています。



本村くるみ

河野奈津美

高安美智子

白木沢敦

奥川遼真

河野 奈津美国際学群 経営専攻(2015 年度後期 ～ 2017 年度後期 5 期間)

私は現在、塾で事務員のお仕事をしています。仕事を始めてまだ数ヶ月ですが、チューターとして活動していたことが生きていると感じる瞬間がとても多いです。特に、生徒との関わり方は先輩方からも入社してすぐと思えないくらいリラックスして対応が出来ていると、褒めていただくことがありました。勿論、当時も貴重な経験をさせて頂いていると思っていましたが、社会人になってさらに経験が価値のあるものだった、活動していて良かった！と実感しました。

終わりになりますが、10 周年おめでとうございます。これからも益々のご活躍を期待し、OG として応援しております！

## 2019年度在学中の元 MSLC チューター

### 平野菜都弥 国際学群 4 年次

MSLC10 周年おめでとうございます！

MSLC での 2 年間の活動を通して人に教えることや組織で動くことの難しさ、反対に、それを達成できたときの喜びを多く感じる事ができました。

チューターやチューティー、先生方との様々な出会いや経験を通して、自分自身、成長できたのではないかと感じています。今後も MSLC がチューターやチューティーにとってそのような場であり続けることができるよう、願っています。

### 川島さやか 国際学群 4 年次

MSLC10 周年おめでとうございます！

MSLC での活動を通して、資格取得だけでなく、自分自身のコミュニケーション能力、チュータリング力などを向上させる事が出来、とても貴重な経験をする事ができました。

MSLC で先生や多くの先輩、後輩と出会い、ともに活動することが出来て良かったです。

MSLC のさらなる繁栄を願っています。



平野菜都弥



大草みゆき



川島さやか



鶴尾春香



屋部藍華



伊藤 幸



本波詩菜



大城 怜菜



内田大貴



## 2019年度活躍中のチューター

### MSLC チューターになってよかったこと

安田美里 国際学群 情報システムズ専攻  
(2016 年度後期 ～現在 6 期目)



私は 1 年生の後期から MSLC チューターに加わりました。MSLC チューターになりたいと思った理由は、絶対に自分の教え方のほうが面白く、楽しくわかりやすいと思ったからです。初めは「自分が思っていたのと違う」と思うことが多々ありました。これって本当に学習支援なのかな、学習支援って何だろう、このままでいいのかと悩むこともありました。それでも続けてきたのは、頑張ろうとする学生を見守り、支援することが出来るからです。

私は今まで様々な科目の受講生の学習支援をしてきました。その科目の中に統計学基礎というものがあります。これは、主に高校までに身に付けておくべき数学的思考や基礎力に課題を抱えた学生が受講するものです。受講生の中には、数学なんて嫌い、何の役にも立たない、そもそも勉強したくないという学生もいました。ですがそういった学生だけでなく、「自分は高校で遊んできたから、大学で頑張る。数学苦手だけどやる。」「他の人に置いて行かれたくないから頑張る。」といった、頑張る理由は様々ですが、苦手なこと、嫌いなことに対してちゃんとやりきろうとする学生もいました。そのような学生の学習支援をすることで、自分自身も頑張ろうという気になりました。また今まで、どうせ出来ないからと言って提出物を出さなかった学生に少しずつ声掛けを行って、講義中にわからないところを教えているうちに、「安田のいる時に来る」といって、一緒に勉強し、提出物を出すようになった学生もいます。自分をきっかけに、少なくとも 1 人の学生が、嫌なこと、できないことをそのままにせずやり切るという姿勢を身に付けてもらえたことが出来たと思います。

また学習支援以外を通して、良かったと思うこともあります。それは「怒られる」ということです。MSLC チューターになり、様々な大人と話す機会も増えました。その中で、私はよく「理想が高すぎる」「皆がみんなあなたみたいではない」「なぜ人の気持ちがわからないのか」と怒られました。内容が子供みたいかもしれませんが、大学生になるとなかなか怒られる機会も減ります。その中で、きちんと怒る、叱る大人がいてくださったのは良かったと思います。

4 年次のため、MSLC に居るのもあと少しですが、きちんと最後まで学生の学習支援を行い、学生自身が成長できるような支援を行いたいと思います。



2019 年度前期 MSJC スタッフ

## 2019年度前期 MSLC チューター紹介

2019 年前期は、4 年次 2 人、3 年次 1 人、2 年次 9 人、1 年次 3 人、計 15 人で活動中！

### 宮川寛太郎(かんちゃん)

情報システムズ専攻：4 年次

Q)こんなチューター目指してます！

A)新しく企画したり、挑戦し続ける組織をみて、サポートできるチューター。

### 安田美里(yasuda)

情報システムズ専攻：4 年次

Q)MSLC メンバーに言いたいこと

A)後輩全員がわが子のように可愛らしく仕方がないです。これからも見守っていきますね（笑）。

### 納沢汐梨(しおり)

診療情報専攻：3 年次

Q)MSLC に入って変わったことは？

A) 自分の意見を少しずつ発言できるようになった。

### 馬場星

国際学群：2 年次

Q)こんなチューター目指してます！

A) MSLC には馬場がいる。だから MSLC に行こうと思ってもらえるような信頼のあるチューター。

### 亀井謙二郎(カメ)

国際学群：2 年次

Q)チューターになって嬉しかったことは？

A) 安田さん筆頭に優しい先輩方、MSLC のメンバー、チューティと仲良くなれたこと。

### 比嘉双葉(てい)

看護学科：2 年次

Q)MSLC に入って変わったことは？

A)自分の意見を大人数の前でも言えるようになった。多分、ミーティングのおかげだと思う！

### 島袋愛子

看護学科：2 年次

Q) MSLC メンバーに言いたいこと

A) みんなさんの頑張っている姿を見ると、私も頑張ろうって思えます！ありがとうございます！出会えて良かった！

### 具志堅沙梨奈

看護学科：2 年次

Q)こんなチューター目指してます！

A)明るくて、親しみやすく、頼れると思ってもらえるようなチューターを目指しています。

### 夏目晃汰

国際学群：2 年次

Q)こんなチューター目指してます！

A)誰もが親しみやすい雰囲気、勉強が楽しいと思えるチュータリングができるチューター

### 田中里奈

国際学群：2 年次

Q)チューターになって嬉しかったことは？

A)説明して、「わかりました！」と言ってもらえたこと。友達や知り合いが増えたこと。

### 西晃人

国際学群：2 年次

Q)チューターになって嬉しかったことは？

A)チューターリングをした人から感謝されたこと

### 杜銀偉

国際学群：2 年次

Q)こんなチューター目指してます！

A)学生の勉強に役立つことを教えられるチューター

### 芝穂香

国際学群：1 年次

Q)こんなチューターを目指してます！

A)チューターになって、多くの学生と話す機会が増えました。これから、楽しくわかりやすい、チュータリングを目指します。

### 水谷日向子

看護学科：1 年次

Q) MSLC メンバーに言いたいこと

A)想像以上に明るいですね（笑）

### 吉高恵理菜

国際学群：1 年次

Q) MSLC に入って変わったことは？

A)有効的な時間の使い方を考えるようになった



## 6. 2018（平成 30）年の MSLC 活動報告



### 数理学習センター（MSLC：Mathematical Science Learning Center）

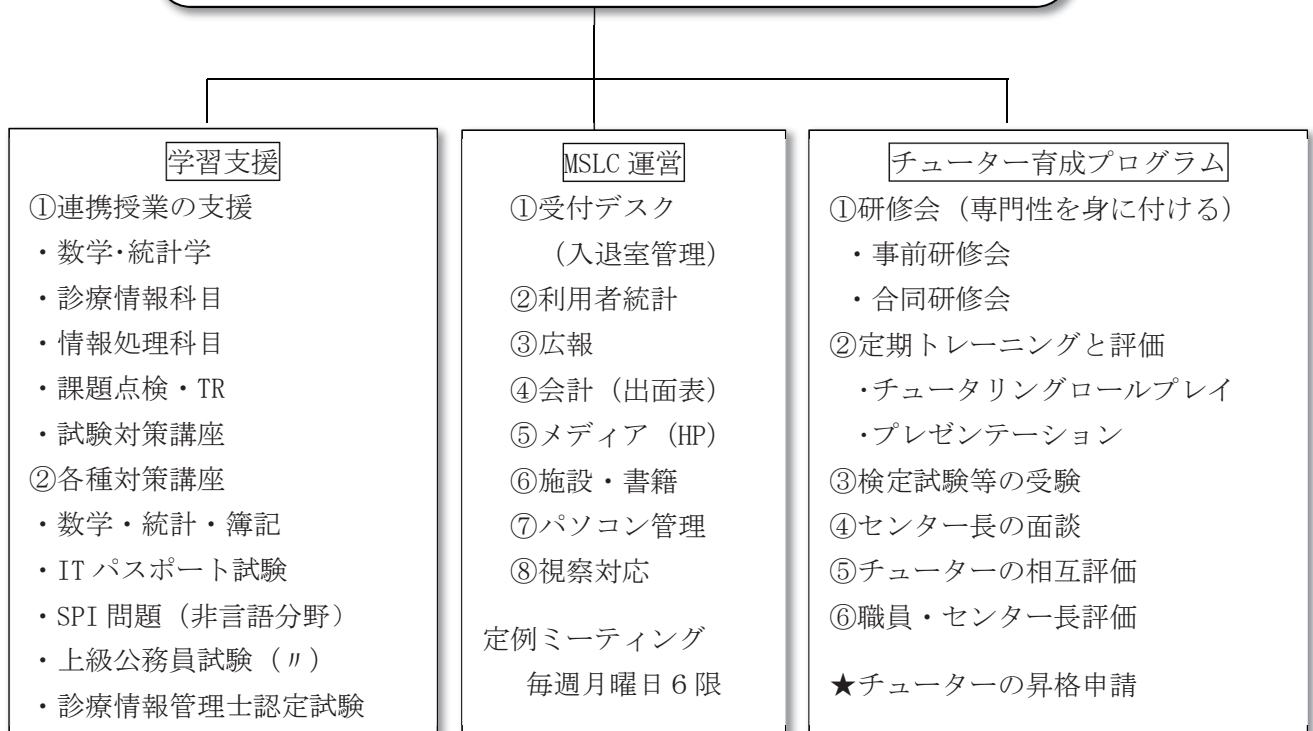
1. MSLC は、優しさ・笑顔・努力を大事にする学びの空間です。
2. MSLC は、学生の数理能力の向上と自主学習の促進を目的とした学習支援機関です。
3. MSLC ピア・チューターは、寄り添う学習支援を心がけ、向上心を持ち、自己実現を目指します。

#### ◆ 数理学習センター(MSLC)目的達成のための3つの業務

名桜大学リベラルアーツ機構における学生支援団体のコンセプトは、「先輩・後輩コミュニティを基本とし、学生が主体的に企画・運営および学生支援を行う」ことです。そこで MSLC では、学生が主体的に「学習支援」及び「MSLC 運営」を行い、目標達成を目指しています。

そのため MSLC チューターには、学習支援と MSLC 運営の二つを遂行するための様々な技能が必要で、チュータートレーニング等の「チューター育成プログラム」も MSLC 業務に明記しています。

#### ◆MSLC の目的：数理能力の向上・自主学習の促進 目的達成のための3つの MSLC 業務



#### ◆ 開館／閉館時間・休館日

- ・ センターの開館時間 8:45～18:00（ミーティング・定休日を除く）
- チュータリングの受付・実施時間 8:45～17:45（1 限～5 限 昼食時間も含む）  
（長期休暇中は変更あり）
- 休館日 土・日曜日、名桜大学の定める休校日

## 1. 数理学習センター運営委員会

### (1) 運営委員

センター長：高安美智子 副センター長：大城真理子 センター職員：田場尚平  
木村堅一（国際学群）、佐久本功達（国際学群）、中里収（国際学群）

### (2) 実施：隔月開催

### (3) 委員会の協議内容

- ①数理学習センター運営委員会の計画
- ②予算に関すること（予算編成方針案、予算案、予算執行状況確認、その他）
- ③数理学習センターの活動に関すること（計画、活動報告、評価、まとめ、その他）
- ④リベラルアーツ機構の年度計画に関すること（数理学習センターの学習支援に関わる事項）
  - ・一斉学力テスト（数学）の結果報告
  - ・自然科学特別講義「統計学基礎」について（計画、実施報告、結果報告、その他）
  - ・入学前特別講座（数学）について（計画、実施報告、結果報告、その他）
  - ・その他（高大接続勉強会等について）

### (4) 数理学習センター活動報告

- ①MSLC 利用状況（利用者述べ人数、学年別利用状況、学科別利用状況、利用者実人数）
- ②連携授業報告、③チューター講座、④チュータートレーニング、⑤チューター評価、その他

## 2. 数理学習センター利用状況

表 1 月別利用者述べ数（2012 年～2018 年度）（合計 23,205 人）

|        | 年間   | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|
| 2018 年 | 4024 | 220 | 899 | 749 | 635 | 119 | 6   | 311  | 431  | 268  | 237 | 149 |
| 2017 年 | 3945 | 166 | 553 | 485 | 412 | 91  | 8   | 380  | 738  | 578  | 387 | 147 |
| 2016 年 | 3860 | 122 | 440 | 512 | 361 | 77  | 12  | 426  | 758  | 526  | 433 | 193 |
| 2015 年 | 2998 | 186 | 219 | 368 | 308 | 75  | 24  | 346  | 512  | 439  | 371 | 150 |
| 2014 年 | 2831 | 344 | 412 | 458 | 374 | 44  | 45  | 293  | 308  | 255  | 199 | 99  |
| 2013 年 | 2754 | 155 | 327 | 426 | 460 | 36  | 0   | 306  | 380  | 306  | 223 | 135 |
| 2012 年 | 2793 | 411 | 530 | 418 | 374 | 45  | 0   | 387  | 290  | 277  | 56  | 5   |

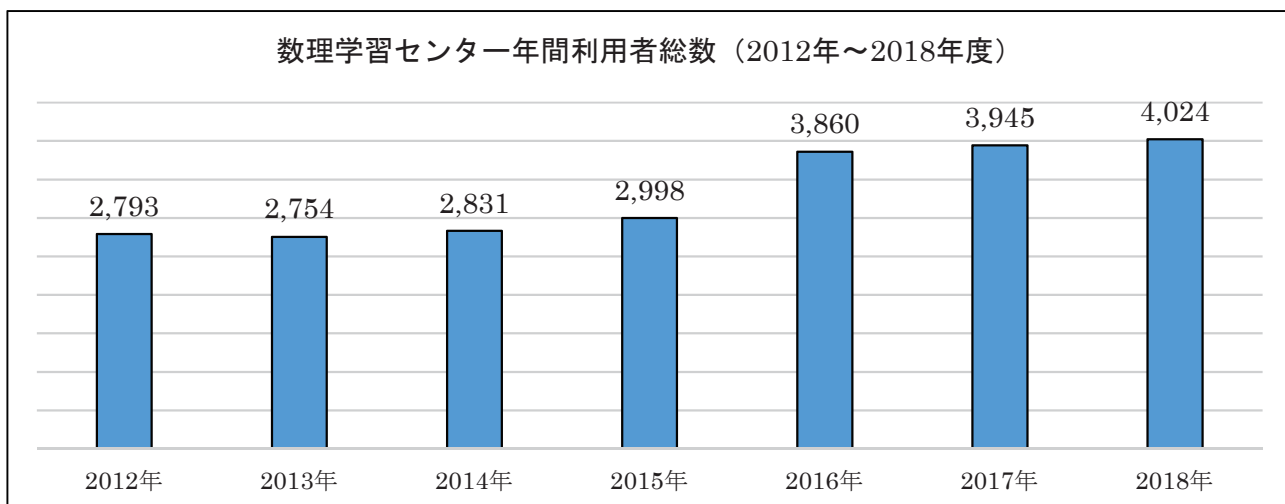


図 1 年度別年間利用者総数の推移



表2 2018年度 1日平均利用者数

| 2018年度    | 前期    | 後期    | 合計    |
|-----------|-------|-------|-------|
| 延べ数       | 2,622 | 1,402 | 4,024 |
| 実人数       | 324   | 214   | 538   |
| 平均回数      | 8.2   | 6.6   | 7.5   |
| 授業日数      | 82    | 81    | 163   |
| 1日平均利用者人数 | 32.0  | 17.3  | 24.8  |

表3 2018年度 学年・学科別利用者数

|          | 1年    | 2年  | 3年  | 4年 | その他 | 合計    |
|----------|-------|-----|-----|----|-----|-------|
| 国際学群     | 1,674 | 425 | 348 | 82 | 5   | 2,534 |
| スポーツ健康学科 | 140   | 26  | 42  | 7  | 0   | 215   |
| 看護学科     | 1,132 | 8   | 53  | 0  | 0   | 1,193 |
| 学 院      | 1     | 0   | 0   | 0  | 1   | 2     |
| そ の 他    | 0     | 0   | 0   | 0  | 80  | 80    |
| 合 計      | 2,947 | 459 | 443 | 89 | 86  | 4,024 |

## 3. 2018年度連携授業科目及び学習支援内容

|                  |               |                                                               |
|------------------|---------------|---------------------------------------------------------------|
| 教<br>養<br>科<br>目 | 数学            | 予習・復習課題の点検・チュータリング、SPI 問題対策講座、試験対策                            |
|                  | 統計学基礎         | 予習・復習課題、中間・期末試験対策講座等支援、エクセル活用講座                               |
|                  | 統計学           | 統計学の予習・復習課題、試験対策講座等の支援、エクセル活用講座                               |
|                  | 情報科学と社会       | N進法の課題点検及びチュータリング                                             |
| 専<br>門<br>科<br>目 | 診療情報科目<br>5科目 | 診療情報管理士認定試験対策：課題作成・点検・チュータリング<br>学年の枠を越えた勉強会、診療情報管理士認定試験の模擬試験 |
|                  | 情報系科目<br>2科目  | ITパスポート試験対策の練習問題を授業の課題として<br>配布・点検・チュータリング                    |
| そ<br>の<br>他      | 各種検定対策講座      | 数学検定、統計検定、簿記検定<br>診療情報管理士認定試験、ITパスポート試験                       |
|                  | 就職試験対策講座      | 教員採用試験対策・公務員試験対策講座、その他                                        |

## 4. チューターに関するデータ

表4 期ごとのチューターの人数(人)

| 年度 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 前期 | 7    | 3    | 14   | 12   | 12   | 14   | 12   | 14   | 15   | 16   | 15   |
| 後期 | 8    | 11   | 14   | 16   | 15   | 15   | 17   | 13   | 16   | 14   |      |

表5 チューターの継続期間(人)

| 1期 | 2期 | 3期 | 4期 | 5期 | 6期 | 7期 | 合計  |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 26 | 33 | 20 | 8  | 6  | 2  | 6  | 101 |

## 5. MSLC チューターに関する諸調査

### (1) チューターの社会人基礎力（自己評価） 学期開始時と終了時の比較

40 項目の質問事項に 4 段階評価で自己評価をしてもらい、社会人基礎力の 4 つの力「①前に踏み出す力、②考え抜く力、③伝える力、④チームで働く力」に分類した平均値である。調査結果から、「伝える力」が下がっているのは、チュータリングの難しさを表わしているとも言える。

4 段階評価（4：とてもある 3：ややある 2：あまりない 1：ほとんどない）

（参考資料：西道実，社会人基礎力の測定に関する尺度構成の試み，プール大学院大学研究紀要第 51 号，2011，217・228）

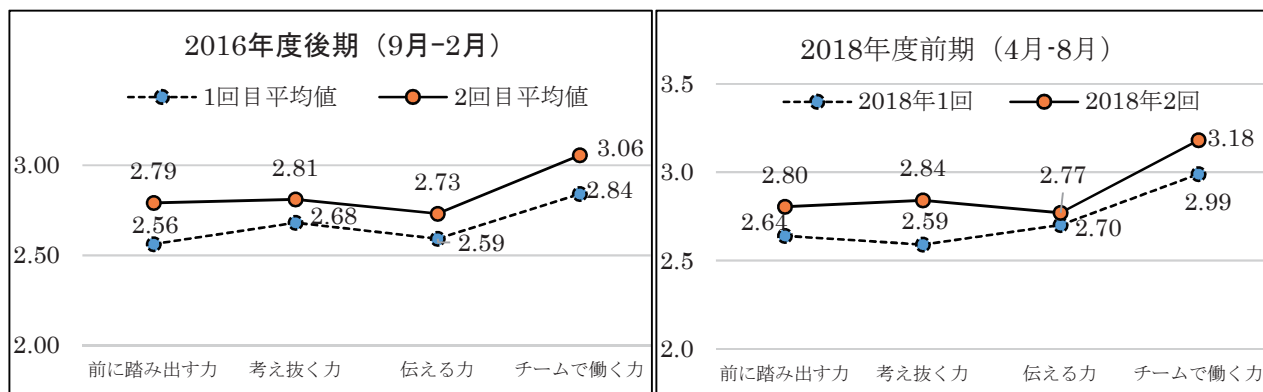


図2 社会人基礎力（全チューターの平均値）

### (2) 学期末におけるチューターの相互評価（2019年2月実施）

- 1.基本的マナー(言葉づかい・時間を守る・挨拶・利用者対応等) 2.責任感 3.協調性  
4.向上心 5.チュータリング力 6.リーダー性(指導力) 7.チューター同士の関わり方

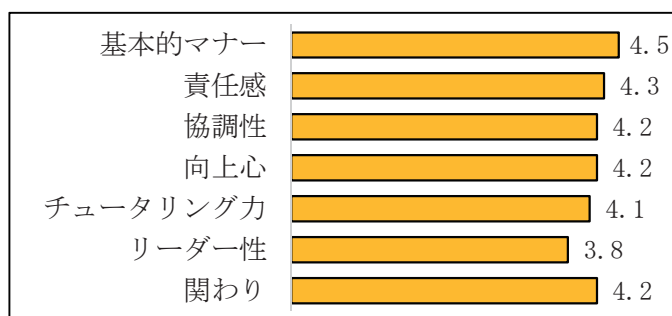


図4 チューターの相互評価の平均

#### 【考察】

毎学期末に行っている相互評価の結果である。チューターが最も注目しているのはチュータリング力である。チュータリングは常に磨き続ける意欲と努力が求められる。

リーダー性が低いのはこれまでの MSLC チューターの課題でもあった。今年度は、上がると期待されている。

### (3) MSLC の活動と社会人基礎力との関わり（数値は%）2019年4月実施

MSLC における業務やトレーニング等が社会人基礎力に結びついているかどうかを調べ全チューター数に対する割合（%）で表わしたものである。

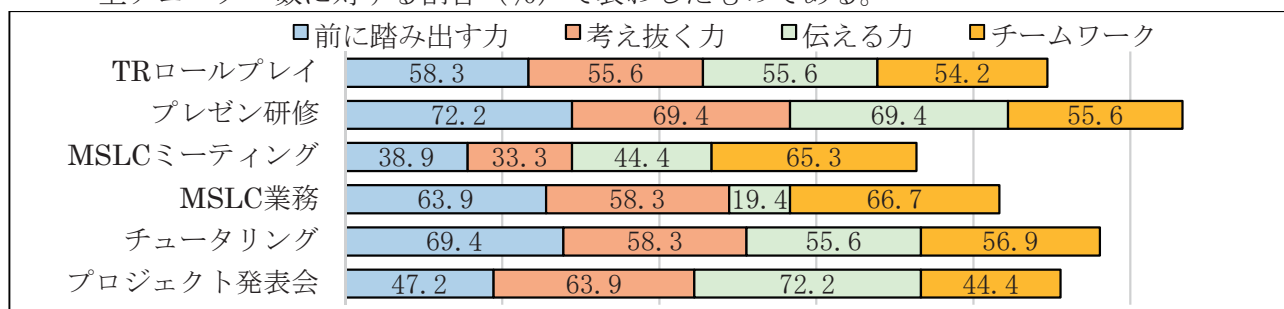


図3 MSLC の活動と社会人基礎力の関わり

【考察】 チュータートレーニングや MSLC 業務は、社会人基礎力と関わりがあると回答している。

特に、プレゼンテーション研修やチュータリングが高い結果となっている。つまり、チューターとしての活動が、自己の社会人基礎力の向上に繋がると認識していることがわかる。



## 7. 2019（令和元）年度 数理学習センター(MSLC)の活動

1. リベラルアーツ機構長：小番 達 副機構長：玉井なおみ

2. 数理学習センター運営委員

センター長：高安美智子 副センター長：立津慶幸 MSLC 職員：吉村瑞樹  
木村堅一（国際学群）、佐久本功達（国際学群）、中里収（国際学群）、  
玉城将（スポーツ健康学科）、佐和田重信（看護学科）

3. チューター名簿

|    | 年 | 氏 名       | 学 科  | 連携授業担当／係      | レ ベ ル   | 備 考  |
|----|---|-----------|------|---------------|---------|------|
| 1  | 4 | 宮 川 寛 太 郎 | 国際学群 | 情報／HP・メディア    | アドバンス   | 4 期目 |
| 2  | 4 | 安 田 美 里   | 国際学群 | 数学・統計学基礎／施設衛生 | マ ス タ ー | 6 期目 |
| 3  | 3 | 納 沢 汐 梨   | 国際学群 | 診療／リーダー       | レギュラー   | 3 期目 |
| 4  | 2 | 夏 目 晃 汰   | 国際学群 | 統計学基礎／広報      | レギュラー   | 3 期目 |
| 5  | 2 | 馬 場 星     | 国際学群 | 数 学／副リーダー     | レギュラー   | 3 期目 |
| 6  | 2 | 具志堅沙梨奈    | 看護学科 | 統計学／会計        | レギュラー   | 2 期目 |
| 7  | 2 | 島 袋 愛 子   | 看護学科 | 統計学／利用者統計     | レギュラー   | 2 期目 |
| 8  | 2 | 比 嘉 双 葉   | 看護学科 | 統計学／副リーダー     | レギュラー   | 2 期目 |
| 9  | 2 | 亀 井 謙 二 郎 | 国際学群 | 統計学／会計        | 新 規     | 1 期目 |
| 10 | 2 | 杜 銀 偉     | 国際学群 | 統計学／メディア      | 新 規     | 1 期目 |
| 11 | 2 | 田 中 里 奈   | 国際学群 | 統計学基礎／広報      | 新 規     | 1 期目 |
| 12 | 2 | 西 晃 人     | 国際学群 | 統計学／HP・メディア   | 新 規     | 1 期目 |
| 13 | 1 | 吉 高 恵 理 菜 | 国際学群 | 統計学／          | 新 規     | 1 期目 |
| 14 | 1 | 芝 毬 香     | 国際学群 | 統計学／          | 新 規     | 1 期目 |
| 15 | 1 | 水 谷 日 向 子 | 看護学科 | 統計学／          | 新 規     | 1 期目 |

4. 本年度の新たな取り組み

MSLC の特徴は、数理系科目の連携授業において 1 セメスターを通して学習支援を行うことである。また、教養教育科目の数学・統計学・統計学基礎はチューター全員がチュータリングを行うということが前提となっているため、チューターは毎週の課題を事前に解くことはもちろん、チュータリングができるように準備をする必要がある。シフト中の業務も多忙のため、チューターの提出書類の簡略化を図り、多忙化対策を行うと同時に、業務のスクラップ&ビルドが必要である。

今年度は、データの入力や集計作業を簡略化するために、Google クラスルームを活用している。

### ◆Google クラスルームの活用

- (1) チュータートレーニングの評価（チュータリングロールプレイ&プレゼンテーション研修）
- (2) チューターアンケート（諸調査）
- (3) 連携授業の教材の共有
- (4) シフトの業務連絡
- (5) チューティーの入退出管理（試運転中）
- (6) チューティーによるチューターの評価
- (7) 学期末のチューターの相互評価（予定）、その他

## 5. 2019 年度（前期）MSLC 事前研修会 2019 年 4 月 1 日(月)・2 日(火)

目的：①MSLC チューター育成プログラムの一環として行う。

②MSLC の活動目標を共通理解する。

③チューターのスキル向上を図る。

④業務が円滑にまわるように MSLC の講座や連携授業の計画を立てる。

⑤MSLC メンバー相互の親睦を深める

### ◆事前研修会の主な内容

<4 月 1 日（月）> 1 日目 9:00～16:00

①センター長講話「カリキュラムポリシーの実現に向けて」

②チューターテスト（数学）数学検定 2 級模擬試験

③新規チューターオリエンテーション

マニュアルの読み合わせ、業務割り振り

④プレゼンテーション

・チューターとは、積極性と責任

・TR(チューティング)ですべきこと、してはいけないこと

・数学の TR「質問マニュアル」について

④TR ロールプレイ

・大学入試新テスト試行問題（数学）

⑤エクセル講座（行列と連立方程式）

<2 日（火）> 2 日目 9:00～16:00

⑥チューターテスト

・新テスト試行問題（統計分野）

⑦チュータリングロールプレイ（統計学）

⑧統計エクセル講座

⑨連携授業について話し合い・解答作成等

数学・統計学・統計学基礎・診療情報・

情報処理

⑩MSLC プロジェクト企画書作成

<終了後>

第 1 回ミーティング

・チューター面談、シフトについて

・トレーニングプログラムの担当者割振

★レベルアップ表彰（6 人がレベルアップ）

## 6. 2019 年度（前期）MSLC チュータートレーニングプログラム（ ）は担当者

| チュータリングロールプレイ                                                   | 回    | チューターのプレゼンテーションプログラム          |
|-----------------------------------------------------------------|------|-------------------------------|
| ①割合に関する指導（夏目）                                                   | 1 回  | ①評価について（安田）                   |
| ②対数方程式（馬場）                                                      | 2 回  | ②チュータートレーニングと社会人基礎力（高安）       |
| ③標準化の理解（西）                                                      | 3 回  | ③チームワークの在り方（夏目）               |
| ④シグマを使った数列の和（杜）                                                 | 4 回  | ④スライド作成及びプレゼン技法（宮川）           |
| ⑤SPI 問題 損益算（田中）                                                 | 5 回  | ⑤コミュニケーションスキル・アサーティブネス(亀井・島袋) |
| ⑥等比数列と複利計算（能沢）                                                  | 6 回  | ⑥グループディスカッション（能沢）             |
| ⑦標本平均の標準偏差（亀井）                                                  | 7 回  | ⑦スタディースキル（杜・具志堅）              |
| ⑧ベイズの定理（安田）                                                     | 8 回  | ⑧リフェラルスキル（田中・比嘉）              |
| ⑨母標準偏差と標準誤差（宮川）                                                 | 9 回  | ⑨ファシリテーションスキル・リーダーシップ(西・納沢)   |
| ⑩統計 区間推定（島袋）                                                    | 10 回 | ⑩ロールモデルと模範的チューター（馬場）          |
| ⑪ z 検定の片側検定（比嘉）                                                 | 11 回 | ⑪グループディスカッション（能沢）             |
| ⑫カイ二乗検定（具志堅）                                                    | 12 回 | ⑫後期活動内容の振り返り                  |
| 第 7 週<br>新規チュータートレーニング<br>SPI 問題 チューティング ロールプレイ<br>n 進法、損益算、速度算 | 13 回 | ⑬プロジェクト発表会リハーサル①              |
|                                                                 | 14 回 | ⑭プロジェクト発表会リハーサル②              |
|                                                                 | 15 回 | ⑮プロジェクト発表会                    |
|                                                                 | 16 回 | ⑯プロジェクト発表会の振り返り               |



## ◆2019 年度チュータートレーニングにおけるチューターのコメントより（Q & A）（6 月 10 日実施）

### チューターってなに？

- ・先生ではない、学生が学生を学習支援すること。チューターは、学習支援をしながら自分も成長できるもの
- ・チューティーの学習を支援する、チュータリングする人、学生の手助けをする役割を持つ人
- ・分からない所がある人に対して、一方的に教えるのではなく、理解を確認しながら、一緒に解き進めていく人
- ・学生が身近に頼れる人、学生と同じ目線で、学生と一緒に問題を解いていく人
- ・チューティーの分からなかった問題を分かりやすく教える人のこと
- ・活動がスムーズに行えるように、助けが必要な人を支援する人
- ・普通の学生(人のために時間を使うことができるちょっぴり優しい学生)

### チューターとしての目標は？

- ・分かりやすい。また来たい。数理系の科目嫌いだったけど、少しは数学アレルギーがなくなった。と思ってもらえるようになりたい。
- ・チューティーに理解してもらえる分かりやすい TR ができるようにする。
- ・それぞれのチューターにあったチュータリングを行い、チュータリングを行った範囲の分野を理解してもらう。

### 目指すべきチューター像は？

- ・チューティーが分からないことを一緒に考え、統計学や数学の講義の内容など、対応できなければいけないものはしっかり教えつつ、分からないことでも、次までに調べてきて問題を解決する
- ・組織の業務をしっかりと行う
- ・チューティーからすごい人と思ってもらえる
- ・学生と友好関係、信頼関係を築き、ともに新しい問題の見方、解法を見つけていくチューター
- ・頑張りたい学生(受講生に限らず、MSLC にいる学生も含め)、頑張ろうとする学生、何かに挑戦しようとする学生を支援できるような、ちょっぴり優しい学生に私はなりたい  
→頑張ろうとすることが、数学以外でも支援し、見守る※無理強いはしない  
何にも頑張ろうとしない、やろうとしない学生には少しだけ声かけをする。「何かする事ないの?」、「やりたいことないの?」とか。しかし、少しだけ声かけするだけで後は放っておきます。だから、ちょっぴり優しい学生です。そこまで優しくありません。そこから成長する学生もいればしない学生もいます。成長する学生を支援し、成長しない学生を見守る学生を目指します。

### チューターが備え持つべき能力とは？

- ・チュータリングスキル、コミュニケーションスキル、一緒に導いていく力、質問する力
- ・指導力、質問力、コミュニケーション力、やる気
- ・教え方を工夫しようとする努力

### チューターとしてあるべき姿は？

- ・自ら積極的に支援する姿勢と、支援される人を主体的に活動させようとする姿

## 2019 年度 MSLC スタッフ

### 仲間に感謝

数理学習センター長 高安美智子  
名桜大学 リベラルアーツ機構

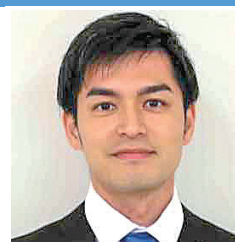


MSLC スタッフとして赴任当初から支えてくれた大城真紀さん、その後任として昨年度まで MSLC 改革、チューター育成に取り組んでくれた田場尚平さんのこれまでの支援に感謝いたします。当時の苦労ややりがい懐かしさとともに思い出されますが、一緒に MSLC10 周年を迎えられないのは残念の一言に尽きます。ただお二人の足跡は幸いにもこの記念誌の随所に見ることができます。

今年度は、新たに立津慶幸副センター長と吉村瑞樹係員が赴任し、チューター育成及び運営を行っています。おかげで MSLC 業務の IT 化による作業の効率化が進み心強く思っています。何よりデータの共有化・利便性が改善され、チューターが喜んでいるところです。

### 節目の着任

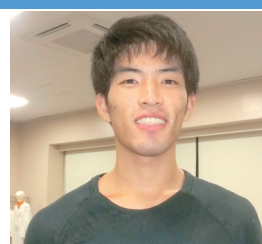
数理学習センター副センター長 立津慶幸  
(名桜大学 リベラルアーツ機構/IR 室担当)



名桜大学数理学習センターは高安センター長を中心としたチューター育成と、在学生の数理的思考の向上を目的として活動しています。MSLC10 周年という節目の年に副センター長として着任し、まだ半年も経過していませんが、生き生きと指導している MSLC チューターの学生さんの姿は、センターに携わる教員として頼もしい限りです。本センターにおけるチュータリングを通して、社会で必要とされるスキルを身に付け、今後活躍できる人材へと成長していくであろうと期待しています。本年度から本学で開講されている科目との連携を強化することにより、名桜大学の学生に本センターを有効活用してもらう仕組みを整えております。利用学生が数理系科目の学びを通して論理的思考を鍛え、自身の課題発見と解決力を養える人材へと成長できるよう、私自身も MSLC におけるより良い学習環境の提供および学習プログラムの構築を通して名桜大学生の育成に貢献していきたいと考えています。

### MSLC10 周年を迎えて

担当職員 吉村瑞樹  
(名桜大学 教務課 係員)



数理学習センターでは、チューターである学生を中心に、名桜大学生の数理的能力の向上を目的として学習支援を行っています。学生が学生を教えるという環境では、学ぶ学生だけでなく、教える学生も成長でき、チュータリングスキルやコミュニケーションスキルなど社会に出て生きる能力を身に付けることができます、貴重な経験をすることができます。また、チューター達は週に 1 回の定例のトレーニングや、各種検定を受検するなど、よりよい学習支援を行うことができるよう日々努力を行っています。

MSLC 設立から 10 周年となり、高安センター長や学生を中心に、良いチュータリングを行うための工夫を日々考え、実行しようとしており、私自身もその力となれるよう協力してまいります。



おわりに

## 「数理学習センター 10年のあゆみ」の発行に当たって

2013年4月1日に名桜大学数理学習センター長を拝命して、瞬く間に7年目を迎えました。

赴任当初、木村堅一教養教育センター長（当時）から託されたキーワードが、「数理学習センターの改革」という言葉でした。センター内には「学習談話サロン」というコーナーがあり、囲碁やDVD鑑賞を楽しむなど、仲間が集うという感覚で来室する常連の利用者もいました。センター設置当初から、学生の居場所づくりとして、「学習談話サロン」はその役割を担ってきたようです。2015年度に学生会館が完成し、MSLCがSAKURAUMに移転した際には、「学習談話サロン」がなくなることを惜しむ声もありました。しかし、SAKURAUMの明るい空間は、「みえる・つながる・ひろがる」のコンセプトによって学生の交流が広がる新しい学びの場となりました。さらに、本学の学生に必要な学習支援とは何か、学習支援センターの真の目的とは何かを模索し、学生の数理能力の向上に繋がる取組を追求してきました。

その結果実現したのが、3年目を迎えている自然科学特別講義「統計学基礎」の学習支援です。また、高大接続の取組として、昨年度高校生を対象とした「入学前特別講座（数学）」を、開設することができました。それらの取組により、数理学習センターが本学のカリキュラムポリシーを達成するために必要とされる学習支援体制を構築しつつあることを、数理学習センターのチューターとともに実感しているところです。また、専門科目との連携によるITパスポート試験対策や診療情報管理士認定試験の勉強会や模擬試験の実施等、検定取得の支援体制もチューターと協働で取組んできました。さらに、数理系を得意とする学生が数学検定準1級や統計検定2級に挑戦し合格を勝ち得たことが、数理系科目の楽しさを伝えるチューターとしての達成感とやりがいにつながっているようです。

数理学習センターは、本学の言語学習センターをモデルとしてスタートしています。現在も多くの助言等をいただき、チューター育成やセンターの抱える課題等を共有し、本センターの諸活動が適切に運用できていることに心より感謝しております。今後は、ライティングセンターを合わせた三センターがさらに連携し協働することで、本学の目指す学習支援センターの体制づくりとさらなる発展に尽力していきたいと考えております。

近年は全国的にもラーニングコモンズや学習支援センターが増えていますが、2009年という早い時期に、教員と学生が協働で学生を支援し主体的に学べるコミュニティづくりの構築を、本学に実現させた当時の先生方のご尽力に、心より敬意を表したいと思います。

さらに、「数理学習センター10年のあゆみ」を発行するにあたり、センター設置から現在まで種々ご尽力されました先生方や卒業したチューターから、多くのメッセージをお寄せいただきました。改めて設立当初の皆さまの熱意とその強い使命感が伝わってまいりました。数理学習センターの改革は道半ばであり、その大任に違わぬよう新たな決意をしたところです。

最後に、この10年間で100名余の学生がチューターとして関わり、数理学習センターへの愛着と活動に誇りを持ち、ここまで支え発展させてくれました。私も75名のチューターと関わり、現在も楽しく充実した日々を過ごしています。これまでのチューターの協力に心より感謝しています。

本誌においてMSLC10年の足跡を紹介することができたのは、現チューターや現スタッフの協力があつたからこそです。これからもセンターを愛してくれるみなさんの思いが届くことを願って止みません。また、数理学習センターの設立理念の継承とさらなる発展を期して、今後ともチューターとともに邁進してまいります。皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

名桜大学 リベラルアーツ機構 数理学習センター長 高安美智子

名桜大学 リベラルアーツ機構  
数理学習センター10周年記念誌

---

2019（令和元）年7月29日発行

編集 数理学習センター

発行 公立大学法人名桜大学

リベラルアーツ機構 数理学習センター

〒 905-8585

沖縄県名護市為又 1220-1

TEL：（0980）-51-1027

FAX：（0980）-51-1108

印刷 株式会社 国際印刷

---



数理学習センター  
(MSLC)



years of history  
2019

公立大学法人



名桜大学